

においはいいに

第32号



2010年

北京皮影劇

川口市日本中国友好協会

川口中国語教室

字幕と辞典と

川口市日本中国友好協会

理事長 栗原 喜一郎

西部劇を見た。1週間の勤務が終わった土曜日の午後、外国映画専門の映画館に勤務先の親友と一緒に、毎週のように行ったことを思い出す。

娯楽が少ない敗戦直後、「シェーン」を始めとする西部劇は勤務による緊張感と疲労をとるのには、青年時代の私にとって、恰好の娯楽だった。

最初の頃は、字幕を読むのが忙しかった。慣れるに従って、画面の言葉と字幕とが一致するようになってきたことを覚えている。しかし、そのうちに、英語で話す言葉とその訳である字幕の文字とが違っているのではないかと、思うことがしばしばあったことを思い出す。画面で、短い言葉を聞いた人が笑い出す、なぜ面白いのかわからないことがあった。

それが、最近になってわかったのである。映画翻訳者の太田直子氏のエッセイ「字幕屋は銀幕の裏側でクダを巻く」を読んで合点したのである。原文を引用する。

「……そもそも字幕は欄外註のような補足説明ができない。それどころかまともな全訳でさえなく、ぎりぎりまで字数を削った要約だ。しかも文書とちがって読み返すことができない。画面に現われては、数秒で消えていく。……」

外国映画を真に理解するには、その外国の言葉の生きた意味のみならず、風俗、習慣までも知らなければならないのだと思ったのである。そうだとすると、外国人と真に理解しあい、交流しあい、友好を深めるには、言葉を知ることに加えて、自然、文化、風俗、習慣を理解することが必要になる。難しいことであるが継続によって達成できるものであろう。

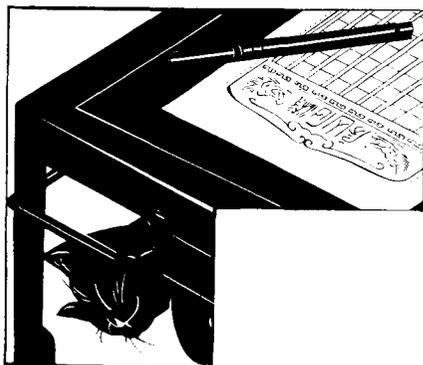
私の机には常に2冊の辞典がある。「角川漢和中辞典」と「新明解国語辞典」である。

中学時代の親友S君が結婚するとき、私にお祝いとして、欲しいとあったのが「角川漢和中辞典」である。S君と私との関係は、彼が見合いをして、結婚式1週間前に破断したいと私に相談したこと、私の結婚のとき「家以外ならどんなものでもお祝いとしてあげたい」といったほどの仲であり、無二の親友“心の友”である。私も同じ辞典を机上に置き、それをS君と思いながら辞典に親しんできた。

「新明解国語辞典」は、私が最も尊敬する国語教育の大家 M 先生の推薦によるものである。訳が文字どおり明解で、常に机上から離れることなく、使ってきた辞典である。

「加齢に伴い、小さい字が読みにくくなったことと、永く使って痛んだことから、書棚にある岩波の机上版広辞苑を取り出してみたが、慣れだけでなく、魅力なのではなか「新明解国語辞典」を机上から離せないでいる。今は故人となっている S 君と M 先生を想い……。

読書と執筆には、日本人は漢和と国語の 2 つの辞典は必要なのである。外国で単一言語国家では 1 冊ですむのにと思う。



『にいはお』第32号発刊にあたって

川口市日本中国友好協会
川口中国語教室代表 本多路子

新入門生を迎えると『にいはお』の編集が始まります。今年は数えて第32号となります。毎年のことながら皆様にお忙しいなか、掲載する原稿をお願いしております。しかし、原稿の集まりはいつも遅く、原稿が来てもいろいろと注文もあつたりで、編集者は大変なようです。ご存知のように川口日中は皆さんのご協力の下に成り立っている協会です。『にいはお』の編集者も自分たちの仕事の合間を縫ってやっつけてくださっています。あまり注文をつけずお手柔らかに、できればお手伝いをお願いしたいものです。

さて、今年の入門生は昨年の人数の半数でした。このところ一年おきに新受講生の申込みが増減しております。毎年20名くらいの応募者があると、教室は安泰なのですが、受講生を増やす良い案がありましたらご連絡ください。

教室運営につきましては昨年よりスタッフ制を導入し、充実した教室運営ができますよう幹事会の前にスタッフ会議を開き、問題点や運営方法を討議しております。ご意見や提案等がありましたら各スタッフ宛にご一報いただければ幸いです。新年度が始まって早くも二ヵ月、「明るく楽しい中国語教室」をモットーに、今年もご協力をよろしく願いいたします。また、入門と新規編入の受講料が改定されましたのでご確認ください。



目 次

字幕と辞典と 『にいはお』第32号発刊にあたって 川口日中の友好事業紹介	理事長 栗原喜一郎 1 教室代表 本多 路子 3 事務局長 加藤 展桁 6
入門Bクラス	
クラス紹介 老師プロフィール 老師的一句 药食同源 《訳》医食同源 受講生随筆 中国語を学び始めた動機 中国古典古代中国の英知を知る 中国語を学び始めた動機・目標 中国語を学び始めた動機・目標 中国語を学び始めた動機 私の抱負 中国語を学び始めた動機 私の動機・抱負 中国語を学び始めた動機	吉田 博・木村眞弓 9 丁 菁 10 丁 菁 10 前田 稔夫 11 石原 広香 11 佐藤 可成 12 宮 謙一 12 佐藤 心 13 柳原 朱美 13 武田千恵子 13 柳瀬 弘行 14 山田 保永 14 金沢 広子 14
初級Bクラス	
クラス紹介 老師プロフィール 老師的一句 受講生随筆 一年を振り返って 上海の朋友 非常感謝！ さらなる1年	吉田 博 15 高 麗貞 15 高 麗貞 15 川俣 明子 16 林 芳男 17 石井 勘之 18 吉田 博 18
西公民館火曜夜クラス	
クラス紹介 老師プロフィール 老師的一句 日语真难学 《訳》日本語が難しい 受講生随筆 母亲更加健康了 喝酒 《訳》お酒を飲んで…… 你到底是谁!? 《訳》お前は一体誰!? 绍兴旅游 我的现在 《訳》私の今 我的名字 《訳》私の名前 吓我一跳 我的短期留学 春天终于到了 《訳》やっと春が来ました 一辈子学习 朋友的一大事件 《訳》友達が出遭った大事件 看烟火引起的深思 《訳》花火を見て憂う	杉浦 契子 20 齊藤 蘭 20 齊藤 蘭 20 岩田 芳樹 21 杉浦 契子 22 早川 守男 23 有賀 利男 23 小林 正幸 24 齋藤 淳子 24 石毛 嘉春 25 井上不二子 25 木村 眞弓 26 平岡 光榮 27 林 紀代 27 市東 文子 28 29

協会水曜朝クラス					
クラス紹介			城戸	保男	30
老師プロフィール			李	麗	
老師の一句	汉语的外来语		李	麗	31
受講生随筆	学汉语感想 一个老人自言自语		開	実	32
			田上	昭二	33
本町青少年水曜夜クラス					
クラス紹介			小山	実子	34
老師プロフィール			張	偉榮	
老師の一句	用“焦糖布丁”给生活加点蜜 《訳》塩キャラメルプリンで、生活をもっと幸せに		張	偉榮	35
受講生随筆	居酒屋にて チャレンジ!!のち 玉砕 自我介绍 《訳》自己紹介		斎藤	陽子	36
			佐藤	佐知子	
			青沼	利興	37
協会木曜朝クラス					
クラス紹介		森 基悦・後藤和可子			38
老師プロフィール			徐	琴	
老師の一句	最新汉语流行词汇—您知道吗? 《訳》最近の中国流行用語—知っていますか?		徐	琴	39
受講生随筆	四川旅行 想愉快地学习 我要努力学好汉语 美丽的春天 厦门是个好地方 不想打消念头 学习汉语是件快乐的事		佐々木	由利子	40
			戸石	丰彦	41
			白根	晴代	
			小林	直美	42
			长岛	悦子	
			土屋	孝一	43
			木下	靖夫	
協会木曜夜クラス					
クラス紹介			前田	稔夫	44
老師プロフィール			王	梅	
老師の一句	致上级班教室的同学们 《訳》上級教室のみなさんへ		王	梅	45
受講生随筆	2009年 昆明・大理・麗江の旅		田村	由美	46
協会金曜朝クラス					
クラス紹介			山村	栄子	52
老師プロフィール			小原	春輝	
老師の一句	散心去		小原	春輝	53
受講生随筆	黄金周 《訳》ゴールデンウィーク 黄金周 有啤酒吗?		山村	栄子	54
			水上外	美子	
			今泉	弘幸	55
協会金曜夜クラス					
クラス紹介			矢澤	昭人	58
老師プロフィール			呉	英偉	
老師の一句	《訳》从救援活动看日中友好的出发点 《日本語》四川大地震		呉	英偉	59
受講生随筆	中国访问的回想 《訳》中国訪問の思い出 敢张口说汉语了 和风和和式 《訳》和風と和式 「何とかの上にも3年…」 バードウォッチング(观察鸟类) 四季如春的昆明		加藤	展衍	60
			加藤	惠一	61
			山田	絹子	
日本語教室			矢澤	昭人	62
			平山	安次	63
			李	化	66
2009年度 画報日中かわぐち		編集	前田	稔夫	67
		編集後記	市東	文子	62

川口日中の友好事業紹介

川口市日本中国友好協会
事務局長 加藤 展桁

川口市日中友好協会（会長：岡村幸四郎）は創立以来 36 年間、諸先輩のご尽力で幾多の困難も乗り越えて、中国語教室の開設、多年にわたる日中友好訪問、さらに各種の事業などを展開し、今日に至っています。

私は昨年事務局長を拝命し、栗原理事長を始め理事、スタッフ、幹事そして事務局の皆様のご協力のもとで、無事一年が経過し、皆様に感謝申し上げる次第です。「ニイハオ」中国語を学び、中国人と友好を推進する私達にとってなんと心地よい挨拶の言葉ではないでしょうか。今年は上海万博開催の年に当たり、より一層の友好が進められることと推察いたします。

本年度も昨年同様に各種事業を計画実施してまいります。本年入室の皆様にも協会活動を理解していただくよう事業内容をご紹介します。

1. 中国語教室（教室代表：本多路子） 本年度は 33 期生 15 名が加入して 9 教室、総勢 95 名である。中国人教師の指導のもとで、年間 45 回の授業を行う。スタッフ会議、幹事会議を経て、教室の皆様にも協会行事に協力をいただいている。
2. 中国研修視察旅行（担当：菅原理事） 協会事業として毎年開催。昨年は 15 名の参加で「江南地域（桂林・黄山山麓の世界遺産など）の視察研修」を行い、今年は 6 月 3 日より「三峡クルーズと三国志を辿る旅」を 16 名の参加で実施、会話の上達も期待される。
3. 市内小学生の大使館訪問（担当：栗原理事長） 本年 28 回目となるこの事業、昨年は戸塚綾瀬小学校の親子訪問であったが、日中の小学校長及び両国の小学生たちの交流が有意義に楽しく行われた。現在本年の実施校を検討中である。
4. 川口たたら祭り協賛参加 会場北門近くのブースを確保して、例年多くの人で賑わう。川口日中が中国人研修生、海研会の協力のもとで、水餃子を実演販売。毎年「本場の水餃子」が好評でファンも多い。今年は 8 月 7 日、8 日に開催。
5. 中国語発表の集い 埼玉県日中主催の発表会で、昨年は入門クラスの 5 名が丁老師の指導で参加し、3 名が入賞の快挙。日頃の成果を発表する絶好のチャンス、今年も多くの方々の出場を期待します。
6. 中国映画無料鑑賞会 毎年スキップシティで開催。中国大使館の協力、会員親睦を兼ねて中国映画を鑑賞、多様な文化や人間模様に触れ、

多くの人に感動と賛辞をいただいている。

7. 日中川口（協会だより）の発行（電腦塾担当）年4回協会活動のニュースを会員へ知らせるとともに、会員拡大の一助に発行している。
8. 埼玉県日中主催行事への協力 県日中主催の「中国語一泊研修会」「中国を知る一般市民講座」「中国語発表のつどい」「山西省緑化事業」「『日本と中国』埼玉県版への原稿協力」などを行っている。
9. 中国語教室忘年会 県日中・田中会長他来賓及び中国人教師、そしてクラスメンバーによる大忘年会、各クラスの発表も楽しく福引抽選もあり、毎年大いに盛り上がる。
10. 総会・懇親会 岡村会長出席のもと、中国大使館・張参事官を始め来賓を迎え開催。事業計画会計報告の承認、次年度事業計画予算案を審議。懇親会で張参事官から更なる日中友好推進への協力依頼があり、終始和やかな雰囲気のうちに行進した。

上記が川口日中のおもな事業ですが、その他中国人プロ卓球コーチによる中学生への卓球指導、中国人向け日本語教室の開催、電腦塾（パソコンクラブ）などを行っています。

これらは栗原理事長を中心に事務局、スタッフ、幹事一体となって推進しているものです。友好活動を通して更なる友好の架け橋となるべく活動を行っています。会員各位は協会の一員であることを自覚して、各事業にご協力をいただくようお願いいたします。



2010年

受 講 生 隨 筆

入門Bクラス

《クラス紹介》

吉田 博・木村 眞弓

4月2日栄町公民館にて川口中国語教室第33期生開講式が行われました。

丁先生を講師にお迎えし、緊張と期待の中に始まった授業も、回数を重ねる毎に笑顔も増えてきました。金曜日夜7時……1週間の終わりに「世間の誘惑」を振り切って新しい学習に燃え立った男性8名、女性6名の美男美女の皆さんです。きっと“強い心”をお持ちでしょう。どうか皆さん、この1年間、なるべく休まず、続けていただきたいと思いません。遅刻でもいいのです。川口中国語教室では「楽しい中国語教室」がモットーです。教室を離れての活動もたくさんあり、他のクラスの方々との交流も可能です。ご都合に合わせて積極的に参加してください。

さあ教科書のごとく「中国語はじめの一步」を一緒に踏み出して参りましょう。そして3月には、全員の方が修了証を手し、それぞれの目標に向かって確実に一步！近づいたことを感じていただきたいと願っております。

《老師プロフィール》

丁 菁

出身地	北京
誕生日	10月11日・天秤座
来日日時	1992年5月
中国出身学校	北京交通大学
日本出身学校	獨協大学
日本職業	中国語教師
家族	夫・息子
特技	刺繍
趣味	野菜の栽培

《老師的一句》

药食同源

丁 菁

现在人都十分重视健康，无论是报纸上还是电视上，也都热衷于宣传保健知识。很多人一天吃上很多种营养药，殊不知这些营养药通过复杂的加工后，有很多成分已经被破坏掉了，而且无论怎么说，它毕竟是人们想要图省事的一种消极的保健方法。

如果从科学的角度来说的话，应是从食疗上补身体。那么怎么吃才能吃出一个好身体呢？这里不妨向大家介绍一下我的保健心得。

首先是五豆。五豆就是五种豆子，即绿豆、红小豆、黄豆、熨斗、黑豆。肝吃绿色的，绿豆。大家在夏天都爱和绿豆汤，其实绿豆是养肝的，肝是解毒的，肝的解毒能力提高了，对身体有好处。心吃红色的，指红小豆，这两种豆，什么时候才有药用价值呢？好多人夏天煮绿豆汤喝，用来解暑，把绿豆煮得很烂，喝煮出来的汤，其实这样的做法是非常错误的，说白了，这是解馋的，解不了毒。正确的方法应该是：冷水煮绿豆，当水煮开到 5-6 分钟绿豆还没有煮开花时，把绿豆汤倒出来，这时候的汤颜色最深，把他当水喝，才有养肝解毒去暑的作用。剩下的绿豆再加水，煮成粥喝。大家以后再喝绿豆汤的时候一定要这样做，这才叫“药食同源”呢。为什么让大家吃豆呀？脾吃黄色的，黄豆；肺吃白色的，芸豆；肾吃黑色的，黑豆，不是木耳。举个不恰当的例子，农民喂牲口都用黑豆，肾气足，才有劲儿呀！

其次是菌类食品。菌类食品就是指香菇、木耳一类的东西。我这里说的菌类食品指的是晒干后的香菇等食品。香菇里含有丰富的抗癌物质，如果能做到一个星期吃上一次香菇馅儿的饺子，那就更棒了。

最后是瓜类。我这里向大家介绍的主要是苦瓜、丝瓜、还有西葫芦。这三种瓜类也是防癌的好帮手。我常常是在家里做凉拌苦瓜，当然做法很简单，就是把苦瓜切成很薄的片儿后，加上盐、醋和一点生蒜就可以吃了，大家不妨试一试。去年我在院子里种了很多苦瓜和丝瓜，今年还种了很多西葫芦。

药食同源就是指在日常生活的饮食中，吃出一个身体。



医食同源

現代の人々は健康をかなり重視している。新聞やテレビでも熱心に保健知識を伝えている。多くの人は沢山の種類のサプリメントを飲んでいるが、これらのサプリメントは複雑に加工され、さまざまな成分はすでに破壊されている。サプリメントはつまり手間を省くために考えられた一種の消極的健康法である。科学的角度から見れば、食養生で体を補う必要がある。どのような食

事をすれば健康な体を作り出せるだろうか？保健に関する私の考え方を紹介させてください。

まずは5つの豆、5種類の豆、すなわち緑豆、小豆、大豆、隠元豆、黒豆。肝臓には緑色の緑豆。夏は緑豆湯を好みますね。緑豆は肝臓を保護するからです。肝臓には解毒作用があり、その解毒作用を高め、体に非常に良いのです。心臓には赤色の豆、小豆です。この2種類の豆の薬用効果はいつ現れるでしょう。多くの人は夏、緑豆を煮て暑さしのぎに飲みます。煮た緑豆は非常に柔らかく、できた煮汁を飲むのです。しかしこのような作り方は大きな間違いです。食欲を満たすだけで解毒にはなりません。正確な方法は、冷たい水から緑豆を煮て、煮立って5～6分後、まだ煮崩れない時に煮汁を取り出します。この時の煮汁の色はとても深い色をしています。これを飲めば肝臓の解毒に効き、暑さに対する抵抗力がつかます。残った緑豆に水を加え、お粥を作り食べます。皆さんこれから緑豆湯を作る時は、必ずこのように作ってください。これでこそ医食同源といえるのです。どうして皆さんに豆を薦めるのだと思いますか？脾臓には黄色の大豆。肺臓は白色のインゲン豆。腎臓は黒色の黒豆、きくらげではありません。農民が家畜に餌を食べさせるときはたいがい黒豆を使います。腎気に足りて、筋力が付いてくるからです。

次は菌類食品。これは椎茸やきくらげのような食品で、干し椎茸などの乾燥食品をいいます。椎茸には豊富な抗癌物質が含まれ、1週間に1回椎茸を包んだ餃子を食べれば素晴らしい。

最後は瓜の類。ここで紹介するメインは苦瓜、糸瓜と南瓜。この3種類の瓜は、防癌に大きな効果を持ちます。私は家でよく苦瓜の前菜を作るが、作り方は当然簡単です。苦瓜を薄く切って塩を加え、酢とニンニクを少し入れれば食べられます。皆さん試してください。去年、庭に苦瓜と糸瓜を沢山植えました。今年もまた南瓜をいっぱい植えました。

医食同源とは日常生活の食事で、健康な体を作りあげることを用いるのです。（前田 稔夫 訳）

《受講生随筆》

中国語を学び始めた動機

石原 広香

私が中国語を学びたいと思ったのは、台湾のドラマが好きになったことが始まりです。4年程前、私の好きな漫画『花より男子』が台湾でもドラマ化されたことを知り、DVDをレンタルして観ました。日本でドラマ化されたものとはまた異なる雰囲気、ユーモアがあり、何度も観てしまいました。

その後、たくさんのドラマを見るようになり、また台湾で流行の音楽を聴いたり、台湾の芸能情報を見るようになりました。台湾は日本と共通点も多く、日本に興味がある方々が多いため、自分自身としても「親しみのある国だなあ」と、感じるようになりました。私は台湾のドラマを見る1年前まで、大学で中国語を学んでいました。でも当時は、中国語について興味はなく、単位を取るために学んでいました。大学を卒業し、社会人となった今では自分自身、楽しく前向きに習っていきたいと思います。まず基礎から学び、やがて台湾に行った時に中国語で交流できるよう、頑張ります。

中国古典古代中国の英知を知る

佐藤 可成

私は中国が舞台の歴史小説を読みふけるのが大好きで、司馬遼太郎から北方謙三まで、男臭さと、中国大陸という舞台の奥行きと広さに心躍らされています。

広さとは万里の長城、黄河、長江であり、奥行きとは 4000 年の歴史です。中国 4000 年の歴史を伝える中国古典には様々なものがあり、兵書、宗教、倫理、道徳、法律、問答、詩集、等等。

有名なものは儒家孔子「論語」、中国最初の通史司馬遷「史記」等等がありますが、NHK 大河ドラマ「天地人」が昨年流行ったので、天地人という語彙について儒家孟軻「孟子」的な解釈を紹介します。

「NHK 天地人」は、天と地と人が世界形成の三要素という意味しかありませんが、孟子ではこう言っています。

天時不如地利 （てんのときはちのりにしかず）

地利不如人和 （ちのりはひとのわにしかず）

天の時⇒実行のタイミング 地の利⇒立地条件 人の和⇒団結力

「天の時を得て小さな城を攻撃しても陥落しないのは、天の時も地の利に勝てないからだ、地の利を得ているのに城を捨てて敗走するのは地の利も人の和に勝てないからだ。」

ですってよ。

中国語を学び始めた動機・目標

宮 謙一

私の友人（日本人）のそのまた友人（日本人）が、上海の女性（中国人）と結婚して夫婦で日本料理店を営んでいました。その関係で中国上海に初めて旅行をして、市内をいろいろ案内してくれました。それ以来何回か旅行に行き、中国の良さを感じました。また、「言葉が通じれば良い」と思うようになり、NHK ラジオ講座で中国語を少し勉強し始めました。焦らないで続けたいと思っています。

中国語検定受験目標にガンバります。まずは準 4 級合格！

中国語を学び始めた動機・目標

佐藤 心

今年の3月に初めて中国へ仕事で行きました。取引先の社長さんや幹部の皆さんと会食や宴席を設けて頂きましたが、現地貿易会社の方の通訳が無いと全く意思疎通が出来ませんでした。私の言えたのは「你好」と「谢々」だけで、様々な歓待をして下さった取引先の方々にきちんとお礼を伝えられなかったと思うと残念でした。

帰国後、中国語の学習を決意し、インターネットで川口日中友好協会の教室を知り、受講することにしました。

第1の目標は、中国のタクシーに1人で乗れるようになること。そして取引先の皆さんに前回の礼と、自己紹介を改めて出来るようになることです。

中国語を学び初めた動機

柳原 朱美

私は上海のエネルギーが好きで何回か旅行をしています。行く度に延伸される地下鉄、去年にはあったはずの建物が、今年行くと瓦礫の山と化している。そして、今年上海万博です。旅行する度に変わっていく中国政府の決定の速さに、強さとともに、政府と国民が全く同じ方向を見ながら走っているのだろうか？と思うと怖い気持ちもしました。

ある時、観光地を案内してくれた日本語が堪能な中国人のガイドさんに「中国では、“上に政策あり、下に対策あり”という言葉があります」と言われました。その言葉を中国の人から聞き、中国でも必ずしも政府と国民の意思が一致しているのではないのではないか……と思い、普通の中国の人がどのようなことを考えているのか知りたいことが、中国語を習おうと思ったきっかけです。

私の抱負

武田 千恵子

私の働いている会社では、中国に会社を作り、常時、勤務したり出張したりしています。中国の方も働いていて、中国の単語などを教わりました。そんなきっかけで、中国語が話せたらいいな……と思うようになりました。いつか中国に行って「ドウショウチェーン」と言って買物がしたいです。

中国語を学び始めた動機

柳瀬 弘行

私が中国語に接したのは、今から 65 年前。つまり昭和 20 年満州国立の学校に入学してからです。しかし当時はまだ日本の力が強く中国語を話せなくとも我々にとって何も不自由はなかったのです。敗戦後も特に必要ではなかったが、或る日、先輩の知人が友人達とのパーティに連れて行ってくれた時、ドイツ人、ロシア人、中国人等と愉快そうにそれぞれの言葉を巧みに話しているのを見て、羨ましく感じたことがありました。

帰国後は生活に追われ、就職しましたが、特に必要でない語学は後回しとなってしまいました。会社の定年も終え、個人業も卒業した今、余裕ができたのと、昔の思いを少しでも実現出来れば、と学び始めた次第です。

私の動機・抱負

山田 保永

桜花爛漫の 4 月。久しぶりに学生になった気分で、心弾ませ中国語レッスンを開始しました。さて、勉強を志した動機は、去年暮れより、上海に新会社設立が本決まりとなったことです。急遽、申請書類の作成等に追われ、中国語に触れる機会も多くなりました。4 月に設立、5 月は上海での展示会に出展、併せて設立パーティと予定がどんどん進む中、少しでも中国語がマスター出来ればと思い入校しました。

還暦も過ぎ、このような必要性がなければ、勉強し始めることもなかったかもしれません。皆さんともお会いすることもなかったことでしょう。でも始めた以上は、皆さんの足手纏いにならず、仲良く、楽しく一步一步前進できるよう頑張ってみますのでよろしくをお願いします。

中国語を学び始めた動機

金沢 広子

中国の方が仕事関係にいらしたのと、二胡を習っていたので「中国語も是非習いたい！」と思いました。テレビで「中国語」という NHK の番組を見ていましたが、聴く一方でなかなか上達しませんでした。そんな時、市の広報にてこの講習を知り、夜 7 時から……ということになって主人にも理解していただき、通うことができました。中国旅行に友達と行くのを楽しみにがんばります。よろしく願いいたします。

初級Bクラス

《クラス紹介》

吉田 博

入門クラスから進級 12 名・編入 2 名の 14 名で「初級 B クラス」をスタートしました。机の配置を「教室型」から「コの字型」に替え、全員の顔が見渡せるようになり気分一新？での授業です。

初めは顔を見合わせる事への抵抗感を少々持ちましたが、そこは過去 1 年間机を並べた同士でもあり、和やかに進んでおります。

昨年、何年振りかで生まれた「皆勤賞」を目指し、「さらなる一步」を踏み出すべく 1 年間歩んでいきたいと思っております。

《老師プロフィール》



高 麗貞

出身地

山西省太原市

誕生日

10 月 17 日・天秤座

家族

3 人

趣味

遊び

目標

健康、快樂



《老師の一句》

高 麗貞

我来川口教汉语已经好几年了,每周见到大家都觉得非常高兴。特别是看到大家努力学习的身影,更让我敬佩。我一定多找些资料,让大家进一步了解中国,学好汉语。我们一起加油吧!

私は、川口日中友好協会で中国語を教えて、もう数年になります。毎週皆様に会え、とても嬉しいことと思っております。特に皆様が一所懸命に勉強している御姿に心を打たれます。今後、さらに、中国のことを理解し、中国語をマスターしていただけるように、引き続き多くの資料を皆様に配布したいと思います。一緒に頑張りましょう!

《受講生随筆》

一年を振り返って

川俣 明子

一年間入門クラスで勉強させて頂いて、中国語の魅力にはまりました。最初は、漢字だからやさしいだろうと、たかを括っておりました。ところが、ピンインやら、声調やら、漢字も日本の文字と少し違うし…。

カルチャーショックを受けるところからはじまりました。寝ても覚めても中国語が頭を離れることが無く、一時ストレス状態に陥ったりもしました。それが、今では片っ端から日本の文字を中文に訳してみたり、習った言葉を口ずさんでみたり、楽しいです。

入門一年での思い出は、10月の発表会でした。テーマは“自己紹介”。私はほんの短いフレーズでしたが、なかなか暗記出来ず、懲りずにレッスンしてくださった丁先生には“太謝謝了”です。一緒に参加した他のメンバーは賞を取るほどの素晴らしい発表でした。

私は、今にして思えば無謀な挑戦だったと恥ずかしいです。でも、掛替えのない経験をさせて頂いたことに感謝しております。

先日、和食のお店で食事をしておりました。隣合わせになったカップルはどうも中国人の様子。私は何だかむずむずしてきて、落ち着かなくなっていました。それを一緒に行った姉が察知して「ほら チャンスだよ」と背中を押してくれました。一瞬、常日頃丁先生が言っておられた、「積極的に話しかけてみると良いですよ」が頭をよぎり、勇気を出して話しかけてみました。ところがいざとなると言葉が出てきません。単語と筆談とお互いに英語交じりのへんてこりんな会話で爆笑してしまいました。

「もっと中国の方とコミュニケーションがとれたらなー」

初級はもっと難しくなるでしょうが、高先生の下で、今年も皆勤を目指して頑張りたいと思っております。

どうぞ宜しくお願いいたします。



上海の朋友

林 芳男

テキストの中に一口メモという項目があり、その中に「在家靠父母、出口靠朋友」（家では両親に頼り、家を出たら友人に頼る）という言葉が載っていたのですが、これを見るなり急に以前取引のあった上海の若い社長のことが思い出されました。

彼と知り合ったのは十年近く前になりますが、彼の父親というのは浙江省の東シナ海に位置する「舟山」という1500近い島が集まる群島のひとつで当時、いち早く機械加工の民間会社を設立し、当初大変な苦勞をしながら軌道に乗せた人物だったそうです。その息子である彼は市役所を辞め、父の会社を手伝い、私の会社の指導を受け、機械のレイアウトから加工法、検査、梱包と改善を進め、海外との取引も増えて行き、上海に工場を建てるまでになりました。その後、私は台湾での仕事が忙しくなり、4年ほど彼との交流はありませんでしたが、別件で上海に行くことになり、久々に彼の会社を訪問しました。彼は相変わらず現場に入り、新しい機械の開発をしていました。驚くことに彼は舟山の会社を弟に譲り、自分は上海の工場で一から始めるというのです。久々の再会ということで、彼の奥さんも加わり、楽しい食事をしながら色々と話をしたのですが、上海の彼の会社は装置の製作が主で、当時のインフラ整備と建設ラッシュの機運に乗り、忙しく、新たに土地の取得や工場を増やす計画があるということなどを話題にするうち、彼は中国では売れる商品が出てくると、皆同じ物を作り、短期的な利益しか考えないが、自分は日本のように長期的に考え、常に新しい開発を行っていかねば生き残れないと、真剣な眼差しで語っていたのが印象に残っております。

その後1年ほどして、また会う機会があり、上海の工場を訪問すると、彼の会社は子会社を3社造り、工場・社員共に倍になるほど成長を遂げておりました。当時、彼はまだ40代前半で日本ではとても考えられないことですが、中国ではこれが現実かと驚かされました。

そのように今や急成長した会社の主となった彼ですが、いつものように「旧い友人」と言い歓迎してくれました。この「旧い友人」という言葉も、最初は単なる社交辞令だと思っていました。しかし私の知っている国営の社長や台湾の社長達とは全く違うタイプの人柄で、決して驕らない誠実な態度、仕事に対する真剣な取組み、そして常に先を見ている彼を見るとこの「旧い友人」という言葉も上辺だけのものでは無い、心のこもったものに思えてきたのです。私自身すでに仕事を退いた身ですが、旧きを重んじる、しかし新しいタイプである彼を「信頼できる友人」として今後も思い出すことでしょう。

非常感謝！

石井 勘之

高校3年の時、英語の授業で先生がおっしゃいました。「世間では、日本人が何年も学校で英語を勉強しても英語が話せるようにならないのは、英語教育の欠陥であるという。だが、話せないのは当たり前である。何故なら、我々が学んでいるのは英語学という学問であって、英会話ではないからだ。」更に続けて、「諸君は英語を話せないかも知れないが、英語学は学んで来ている。現に諸君がサブテキストで読み解いているのは当代随一と言われる哲学者や文学者達の論文集である。」

先生の言われたことは当時も今も全く正しいと思います。学問とは何かに役立てるためだけにするのではないという姿勢を示されたと思っておりました。「但し、研鑽し続ければやがては話せるようにもなるかもよ。」と一言付け加えていただければ良かったのにと最近になってつくづく思います。

幸いにもこの4月に急遽台湾に出張する機会を得ました。取引先の出迎えは丁重に辞退し一人で空港から長距離バスとタクシーを乗り継ぎ、現地に辿り着きました。その間筆談メモは封印し、全て会話で挑戦しました。日本語通訳付きの商談とお決まりの宴会は速攻で終わりにして、残りは一人で観光地での語学研修。略して観光です。

レストランで注文し、何だか居心地悪かったので、会計時に注文と支払いシステムを確認して見たり、露天で値切ったり、土産物屋で梱包技術のアドバイスをしたり、タクシーも全て目的地の住所のメモを見せるのではなく口頭で行き先を伝え、何度も間違え、それでも何とか目的地に辿り着き、等々の貴重な経験を積むことが出来ました。途中で一人のタクシー運転手と仲良くなり、帰国の日は彼の車をチャーターしました。

大変親切な人でしたが一つだけ問題がありました。彼は英語を勉強中だったのです。調子づいて中文使いたがる日本人と、英語が使いたくてどうしようもない台湾人です。日本人が中文で話しかけ、台湾人が英語で答える。分からない単語は母国語になる。互いに調子に乗りつつ、噛み合うことの無い会話を交わしながら空港へ向かいました。別れに際し、「再見!」と言ったら“See You!”と返されました。彼の名は劉さんです。劉オーシバと携帯には登録しました。これも楽しい思い出です。

今回、会話以前のレベルでも何とかなったのは、日本語が通じる所が多く、親日的な人が多いといわれる台湾だからこそ出来たことかもしれません。またあの時はこう言えば良かったのだと、後で思いつくことも度々ありました。しかしながら拙くも言葉が通じるということは大変な喜びでありました。

中国語を学び始めてからも、ろくに話せないことは単に努力が足りないだけなのですが、学問を志しているのだから良いのだと粹がったりもしていました。しかし言語を学びながら話せなければ学ぶ価値は半分にも満たないという極めて当たり前のごことに改めて気付いた経験でした。

また出張に先立ち手にしてみた『中国旅行会話ブック』なるものを見て、驚きました。数年前に書店で自ら選んで喜んで買ってきた本です。中文にカタカナのルビがふってあり、様々な場面の想定会話集になっています。例えば第一章の“機内で”では、乗客が乗務員に「ここに荷物置いていいですか？」と尋ねる。乗務員は「横に置いてはいけませんが、座席の下なら良いです。」ルビを読まなければ読めない人にはとても難しい例文なのではと心配になります。万一まぐれで通じたとしても相手の返事は聞き取れないだろうと更に心配になります。つまりこんなもの読んで喋れるようになる訳がないということも解るようになった訳です。学問に王道なしです。

仕事に行きながら、勉強も出来て、多くの人ともコミュニケーションが取れました。中国語を学ぶ事で人生が豊かになったとつくづく思うことが出来ます。これも1年間中国語教室の先生方にしっかりと、体系的に、言語だけではなく文化的背景などについてもご指導いただいたお陰だとつくづく思いました。先生方本当に有り難うございます。またこれからもよろしく願います。次の力試しは、是非とも中国で、中国なら北京か上海で…。とっております。

さらなる1年

吉田 博

1年間中国語を学び、街中で交わされる言葉にも「片言ながら」理解できるようになり、また授業終了後に「3 パック 500 円」の料理を買っている中国料理店では、挨拶程度を話す「怪しい中国人かぶれ？」にもなれました。

(先生からは禁止されている事なのですが)まだまだ、耳で聞いた言葉を文字に書き直し、その文字から意味を探るという低レベルの勉強方法のままですが、なるべく「不懂」や「請再說一遍」のお世話にならず、「懂了」「明白了」を言えるようになりたい、と思えます。

周りの皆さんの足を引っ張る事無い様「明るく・楽しく・元気良く？」また1年間続けて行きたいと思えます。

(足を引っ張ってしまったら、先生・皆さんごめんなさい)

西公民館火曜夜クラス

《クラス紹介》

杉浦 契子

特待生含め総勢 13 名と賑やかなクラスです。

今年度からピンインがなくても読めることを目標に、北京語言大学出版の教科書を使用しています。また、自分の言いたいことを中国語で言えるようにと、日文中訳にも挑戦しています。予習が少し大変ですが、斉藤老師のご指導の下、1年間頑張っていきたいと思います。

《老師プロフィール》



斉藤 蘭

出身地	湖南省湘潭市
誕生日	4月2日
来日日時	平成6年4月
中国出身校	西安交通大学
日本での職業	中国語講師
家族	夫、娘二人、義母
趣味	読書
来日理由	結婚
夢	明るく楽しく毎日を送ること



《老師的一句》

日语真难学

斉藤 蘭

刚来日本的时候，我参加了一个通信教育讲座，名字叫“美丽的日语”。那时候，我在国内学了四年日语，而且工作后做了两年半的日语翻译。所以自我感觉还不错。哪知一来日本，我才知道日语原来是那么难。人们说得太快了，而且声音太细了，一点儿也不象中国人说汉语说得那么清楚，声音也那么大。

连日常生活中的日语我都听不下来，哪里谈得上美丽的日语呢？虽然参加了那个讲座，但我一开始就没有劲头去理它。结果呢，当然是半途而废。手头只剩一大堆教科书。

如果是现在时话，我也许能把那个讲座拿下来。当然，我现在还在一点一点地学日语，请大家有机会时教教我。

訳

日本語が難しい

来日当初、私は「美しい日本語」という通信講座を受講しました。あの時は、中国の大学で四年間日本語を専攻し、しかも職場で二年半の通訳業を経ての来日だったので、自分は大丈夫だろうと高を括っていましたが、日本に来て初めて、日本語の難しさを思い知らされました。皆小声で早口で何を言っているのかさっぱり分かりませんでした。中国人の話す中国語はどんなにはっきりしていて、声も大きくて、分かりやすいだろうと思いました。日常生活の中の日本語さえ分からないのに、美しい日本語どころでなくなりました。受講生の身分は二年で、受講費も払い済みだったのですが、初めから無理でした。結果なんて何もありません。教材だけは手元に残っています。もちろん捨てられないものです。

今だったらどうにか卒業できたかもと密かに思っているこの頃です。これからも少しずつですが、日本語の勉強を続けていきたいです。皆様、ご指導をお願い致します。

《受講生随筆》

母亲更加健康了

岩田 芳树

去年我在《你好》里写了有关我妈妈的事儿，今年我还想借此机会向大家报告一下她最近的状况。

2010年1月2日，我们在老家为她摆了“白寿”的寿筵。我们这一家子一共有32口人，有孙子1人、孙女4人、曾孙3人、曾孙女2人，各家自带两道拿手好菜、大家凑到一起吃。她本人几乎不会吃菜了，可满脸喜气地直看着，脸上的表情是那么生动，一边聊天，一边唱歌，可像个碎嘴老太婆了。虽然我希望她健康，但已是99岁高龄了，所以我也不过于担心了。

今年五月下旬是她真正的生日，我思量着还得为她举办“白寿”的喜筵。

喝 酒

杉浦 契子

我参加工作两三年的时候，认识了一个比我大四、五岁的女同事。有一次她突然说要换工作。公司为她开了送别会。因为我和她的关系很好，所以那天我喝了很多酒。所以我喝醉了。

送别会结束以后，我坐电车回家。可是在电车上我睡着了，结果睡过站了。多走了三站。那个时候末班车已经开走了，我不得不坐出租车回家。可是出租车司机一直对我说，女性不能喝太多酒，不能喝醉，一直说到我到家为止。

喝醉的感觉不错，但是醒酒后觉得不舒服，口渴、头晕、呕吐等等。所以我从此决心不再喝醉了。

訳

お酒を飲んで……

仕事を始めて2～3年の頃、私より4～5歳年上の先輩と知り合いました。彼女が突然転職することになり、送別会が開かれました。先輩とは仲が良かったので、その日私はたくさんお酒を飲んで酔っ払いました。

送別会からの帰り道、電車の中で寝てしまい3駅も乗り過ぎてしまいました。最終電車が行ってしまったので、仕方なくタクシーを拾いました。我が家に着くまでタクシーの運転手は私に「女性がそんなにお酒を飲むものじゃない」「女性がそんなに酔っ払うものじゃない」と言い続けました。

酔っている時はまあまあ良いものですが、酔いが覚めると喉が渇く、眩暈、吐き気等等気分が悪いものです。その時から私はもう酔わないようにしようと思いました。

你到底是谁!?

早川 守男

我于1971年在一家公司就职了，当时这个公司在大阪、名古屋、小田原、茅ヶ崎和横滨等地都有分工厂。我心里希望能在大阪工厂工作，但是被分配到小田原工厂。

单身汉住在镰仓的单身宿舍，但是三四年后在小田原建了新的单身宿舍，所以在小田原工厂工作的人搬住到这个新的单身宿舍了。而只有小田原工厂的产品不同，所以这个时期与其他工厂工作的人几乎没有交流了。

今年同期进公司的老朋友给我寄了一片贺年，因为这一封信，1月底在品川举行了同期会。7个人出席，1个人缺席，1个人去世（非常遗憾）。因宿舍的移

动一别约三十五年，我与他们5个人重逢。除了1个人以外，4个人的姿容完全变了，但是3个人的脸上还有一点儿当时的面影，所以我能想起那时的3个人的面孔。但是有1个人我怎么也想不起来了。

我们回首往事，谈得兴致勃勃，度过了非常快乐的晚餐会，我们怀着再会的希望而分手了。无论到什么时候过去的老朋友也都是很好的，可惜时间过得怎么太快了！

訳

お前は一体誰!?



私は1971年に某会社に就職した。当時、大阪・名古屋・小田原・茅ヶ崎・横浜などに工場があり、内心私は大阪勤務を希望していたが、小田原工場に配属された。

独身者は鎌倉にある独身寮に入寮したが、3～4年後に小田原に新しい寮ができて、小田原工場勤務者はこの新寮に移動した。そして小田原工場だけが異質の製品を扱っていたので、職場が異なる人たちとの交流はこの時になくなった。

同期入社者から来た今年の年賀状をきっかけに、1月末に品川で同期会を開催することになった。(関東在住同期から)出席者は7名、1名欠席、1名他界(とても残念)。寮の移動によって別れた5人とは実に35年振りの再会になる。一人を除き、4人の容姿が全く変わっていたので、直ぐには誰だか分からなかった。しかし、わずかに残っていた面影で、3人の当時の顔は思い出したが、一人だけはとうとう思い出すことはできなかった。

昔話で花が咲き、楽しいひと時を過ごし、再会を約束して別れた。いつまで経っても仲間は良いものであるが、月日が経つのは実に早い。

*出席者の一人は翌日大阪本社に出張して、大阪の同期とこの再会のことを懐かしく語り合ったとのこと

绍兴旅游

有贺 利男

一天，从昆山到绍兴，我坐了三个小时长途汽车，到了绍兴的时候，我不知道自己究竟在哪里。没办法，我叫了出租汽车。我问司机，“我想参观做绍兴酒的地方。”

司机说“现在四点过了，参观的地方关门了。”所以，我在酒店住了一天。

第二天，我参观了鲁迅故居。我很吃惊鲁迅故居很大，院子里有旱田。我在旁边的小酒店，一边怀念鲁迅一边喝了一碗绍兴酒。

我的现在

小林 正幸

我现在没有工作，所以有的是时间。最近为了消磨时间，我经常看中国的电视连续剧。到现在为止我看的电视剧有《流星花园》、《卧虎藏龙》和《新上海滩》等。现在我为了学习汉语，看电视时看得仔细、听得也很认真。这些电视剧内容很精彩，很吸引人。我觉得很有意思。

訳

私の今

いま私は仕事がありません。なので、一日がとても長く感じられます。最近暇をつぶすために中国ドラマをよく見ます。「花より団子」とか「グリーンディステニー」とか「新上海グランド」などなど。中国語を勉強するためにも、よく見てよく聞いています。内容もよいし、とても面白いです。

我的名字

斋藤 淳子

我叫斋藤 (zhaiteng)。其实，到去年为止，自我介绍时我还总是说我叫齐藤 (qiteng)。因为一开始学汉语，我的名字就被教成为齐藤，在日本与我的姓氏同音的汉字有多种写法，比如齋藤、齊藤、斉藤、齋藤。但是我没想到我的形势和别的在汉语中发音会有区别。

上星期我看了一个电视节目，我知道了我的名字排在第十位，而且起源于侍神公主。我想再对自己的姓氏加以仔细的调查。

訳

私の名前

私の名前は齋藤です。実は去年まで名前は齐藤 (qiteng) と自己紹介していました。中国語の勉強を始めた時に齐藤と教わったからです。日本では私の名前はいろいろな漢字を用います。例えば、齋藤、齊藤、斉藤、齋藤などです。しかし自分の名前とそれぞれの漢字の違いを考えなかったことがありませんでした。

先週あるテレビ番組を見ました。私の名前は10番目に多くて、且つ齋宮が起源だと知りました。もっと詳しく自分の名前について調べてみたいと思います。

吓我一跳

石毛 嘉春

我第一次到的中国的大城市是北京，那是十四年以前的事儿了。几天前我回顾过去，确认了已经去过的城市共有 30 个左右。

最北的是黑龙江的黑河市，最南的是福建省厦门市，最西的是新疆维吾尔自治区库车，最东的是吉林省图们市。去过的最高的地方是西藏自治区拉萨市西部海拔 4200 米高的山顶。

我回想起了在上海市内动物园被罚款，厦门是那么闷热，拉萨 4200 米高的山顶上的呼吸困难，我自己也下了一跳。

我的短期留学

井上 不二子

我 2009 年九月份去无锡市江南大学参加了仅四个星期的短期留学。

新学年刚刚开始。我住在十三层留学生楼的三楼。房间里的设备和日本的职员宾馆是一样的。我在那儿呆了四个星期，买了一个塑料洗脸盆、一套打扫卫生的工具、肥皂粉、十个手纸、一个杯子、几瓶矿泉水、还有(洗濯物を干す場所は部屋のかなり高い天井についているのでそこに掛ける為の)一根棒(名前は分からない)这些东西在留学生楼旁边的小超市都能买到的。

我住的房间里当然有自来水，但是这儿的自来水来自太湖水，太湖的水被污染了，而且有臭味儿。不能喝，烧了以后也喝不得。长期留学生都租了饮水机，我没租，所以每天都要去买矿泉水。

洗衣间放着两台洗衣机。投入一块钱后按一下就开始洗，大概四十分左右洗完。洗好后你忘了取出来的话，怎么办呢？下次要来洗衣服的人肯定把你洗完的随便放着，要是你在洗衣机旁边放着洗脸盆或马桶那人一定会顺手替你放进去的。

星期一到五上课，每天都有两节课，下午不上课。但是下午很忙。我们留学生比一般的大学生提前十五分结束学习。因为还没习惯在食堂里点菜的方法，人太多很麻烦，所以下课后马上去食堂吃中午饭。回留学生楼预习一下，然后和一起学习的女学生练习会话。不互相学习的时候，我一个人坐公共汽车去了需要四十分左右的无锡市中心。这路公交车里坐着很多江南大学的学生。我对他们说，“我住在江南大学留学生楼，来这儿学习汉语，你帮我一下练习，好吗？”“你是日本人还是韩国人？你年纪那么大，为什么学汉语呢。”就这样开始会话。他们针对我的水平进行会话。不管怎样，我觉得学习会话的方法是鼓起勇气张开口来。

春天终于到了

木村 真弓

背着双背带书包的小学生和新进单位的职工一样，他们都是一年级。至于说我嘛，我也一样……我是说心情是一样。这是因为我手里拿到了新课本《汉语口语速成》，每周星期二从七点到九点是非常愉快的时间。我想我将以新鲜的心情开始新的学习。

同学们，一起加油！

訳

やっと春が来ました

ランドセルを背にした小学生や新入社員がいます。皆一年生です。私も……気持ちは一年生です。その理由は、今年は教科書が新しくなり、“汉语口语速成”という本が手元にあります。毎週火曜日7時～9時はとても楽しい時間です。これからは気持ちを新たに学習していきたいと思います。

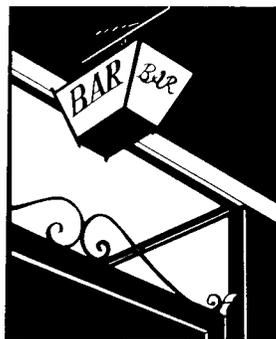
みんな！一緒に頑ガンバリましょう！！

一辈子学习

平冈 光荣

少而学 壮而有为
壮而学 老而不衰
老而学 死而不朽
少而好学 如日出之阳
壮而好学 如日中之光
老而好学 如秉烛之明

持之以恒的努力是学好外语的必备条件。一辈子学习，加油！！加油！！



朋友的一大事件

林 纪代

去年的秋天，住在群馬县的弟弟給我打电话，他说「居上毛报」上报道了姐姐的朋友遭遇了一头熊。我大吃一惊，就给朋友打电话，可是她不在，我跟她联系不上。

过了一会儿她給我打来个电话。她说，几天前早晨六点左右在她的面馆附近遭遇了一头熊。她在故乡村子的尽头经营面馆，每天早上六点去店里准备。那天六点到店以后看到附近的胡桃树上，落下很多胡桃，她就埋头拾胡桃。忽然抬头看见前方二米远有一头熊爬到上路上来。她吓得大声呼救，在当场摔倒下了。一方，好像熊也相当惊恐，急忙改变方向逃到山理去了。

她说，倒下时没受什么伤，可是在报刊上大加渲染真不好意思。一辈子最可怕事，可是碰到很帅的熊把。我听她的声音像很精神，就放心了。

訳

友達が出遭った大事件

去年の秋、群馬県に住む弟から電話があって、「姉さんの友達が熊に遭遇したと“上毛(じょうもう)新聞”に載っていたよ」と言った。

私は驚いてすぐ友達に電話をしたが、彼女は不在で、連絡が取れなかった。しばらくして彼女から電話がきた。数日前の朝6時ごろ、彼女の「うどんや」の近くで、熊に遭遇したのだと言った。彼女は故郷の村はずれで「うどんや」を経営していて、毎朝6時に店に行き、開店準備をする。その日も6時に店に着いた後、近くのクルミの木から落ちていたたくさんのクルミが目に入ったので、夢中で拾っていた。ふと頭を上げると、2m先に1頭の熊が道路に這い上がってきた。彼女は驚き大声で助けを求め、その場に倒れてしまった。一方、熊も相当驚いたらしく、急に向きを変えて山に逃げ帰った。

「倒れたとき、怪我はなかったが、新聞に大袈裟に載ったことが恥ずかしい。生涯で最も恐ろしいことだった。しかし、出遭った熊はカッコ良かったよ」と言った。私は彼女の元気そうな声を聞いて、安心した。



看烟火引起的深思

市东 文子

我很喜欢看烟火。去年的夏天也去看了三场，户田桥烟火大会、川口摩托车赛场烟火大会和埼玉市大崎公园烟火大会。

说到规模，户田桥的烟火最盛大，我觉得也最漂亮。八月一号星期五下午有乌云从西边飘过来，看起来要下雨。那天晚上我和老公、小女儿家人、蜜柑、柚子（小女儿养的很可爱两只小狗）先骑了二十分钟自行车到荒川，然后花了二十分钟从那儿赶到会场。每年我们都必定找前边的空位坐下。

到了开始放烟火的时候，云突然散了，我觉得真幸运。尽管是盛夏，但天气不冷也不热。我们五个人一边喝啤酒、吃菜，一边观赏烟火。蜜柑和柚子每次一听到大音响都吓得直哆嗦，躲到我怀里，太可怜了！我觉得非常对不起它们。头顶上的夜空里，五彩缤纷的大杂花无休止地开放，花一开就散了。周围的观众，有的吹指哨，有的一直在拍手喝彩，欢声雷动。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

二十多年以前放烟火，不是电脑引火，而是人工点火，在亮堂堂的荒川河堤我们清楚地看到一个劲儿地往安全地方猛跑的烟火师傅。有时烟火放不上天空，失败了。又有的只有一半还是在地面上炸开了，好几个师傅负重伤了。

有时正值梅雨季节闪电和烟火一起竞赛表演，烟火冲上了天空，而电光却从天空落下来，我们为罕见的现象瞠目结舌，遇上雷雨，烟火大会就只有中止了。我家4口人看着落雷，无可奈何地向着小板房一溜烟地逃过去了，太吓人了！

★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

我听到烟火的爆炸声时，会想起战争的导弹炮击声，那真是岂有此理。以前我在电视上看过的游艺感觉跟伊拉克海湾战争情况一样。眼前的事让我联想枪声乒乒乱响，跟战斗无关的孩子们、老人和女人一齐逃跑，那是多么恐怖的地狱情景。消除战争威胁，孩子们的饥饿还有悲痛哀伤的面容就会从世界上减少一半。人实在是非常浅薄的!!!

现在在日本没有战争，我不得不衷心希望世界和平！



詠

花火を見て憂う

私は花火が大好き。去年の夏も3回見に行った。戸田橋花火大会、川口オートレース場花火大会とさいたま市大崎公園花火大会。

規模でいえば戸田橋にかなうものはなく、最も美しいと思う。8月1日土曜の午後、西から黒い怪しい雲が押し寄せ、今にも雨が降りそうだ。夕方、夫、次女家族、蜜柑・柚子(娘が飼う2匹の可愛い愛犬)と私は、自転車に20分乗り、荒川に着き、さらに20分歩いて会場に到着。毎年、私達は前の方で空いた席を必ず探し出す。

花火が始まる頃、幸運にも雲が消えた。真夏とはいえ暑くも寒くもない。私達5人はビールを飲み、料理をつまみながら花火を嘆賞した。蜜柑と柚子は轟く音を聴きながら、私の懐で震えていた。とても可哀想なことをして、ごめんね！頭上の夜空に色とりどりの大輪の花が休みなく打ち上げられ、咲いては消える。周囲の観衆は皆、指笛を吹いたり、拍手喝采、歓声をあげていた。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★

20年ほど前、花火の打ち上げはまだコンピュータ操作ではなかったもので、火を点けて、明るくなった荒川土手をひたすらもとの安全な場所に逃げ走る花火師がよく見えた。花火が大空まで上がらずに失敗し、地上すれすれで、半分だけ開いてしまい、数名の花火師が重症を負ったのも見た。

またある時は、梅雨が明けず、稲妻と花火の競演となり、花火は空に上がり、一方、稲光は空から落ちてくるという珍しい光景に眼を見張っているうちに、すさまじい雷雨に見舞われ、花火は中止、私たち家族4人は、落雷を見ながら、小屋を目指して、一目散に逃げたこともあった。

★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

花火の爆発音を聞いているうちに、なんと、ミサイル爆撃音とダブってきた。以前テレビで見たゲーム感覚のイラク湾岸戦争が目の前をよぎっていく。砲撃音を聞き、戦争に無関係な子供・老人・女性が逃げ惑う恐ろしい地獄の光景だ。無意味な戦争さえなくなれば、この世から、餓えも子供たちの悲痛な叫びも半減するのに。浅はかな人間ども!!!

日本には現在、戦争がない。世界平和を心から願わずにはいられない。



協会水曜朝クラス

《クラス紹介》

城戸 保男

新学期が始まり、気になっていた受講生の数が、奇しくも天の配慮か、女性5名、男性5名、計10名に成りました。有難いことです。更に、今期の担当教師である「李麗老師」は、大変エネルギッシュ（有精力）で、良く通る美声の先生から懇切丁寧に、中文添削もして戴き、感謝しております。元来、漢字の書き取りが苦手な小生にとって、早く漢字が書けるようになりたい、そうすれば聴き取りも少しは出来るようになるかも、と思ったりしては、七転八倒している今日この頃です。

幸いなことには、私達のクラス全員が和気藹藹と、女性の名古屋さんを筆頭にナゴヤかな雰囲気の中で、楽しい授業を満喫しています。更に有難いことに、「魚心有れば、水心の精神」をお持ちの皆さんに助けられています。換言すれば、「貴方が要有心なら、私も也有意」、同様に英国、美国の人達も良く言ってます、「私の背中を搔いてくれるなら、私も貴方の背中を搔いてあげます」の気持ちを、お互いに大事にしたいと思います

《老師プロフィール》

李 麗

出身地	遼寧省沈陽市
誕生日	2月23日
来日日期	1993年11月
中国出身学校	大連医学院
日本での職業	中国語講師
家族	主人と子供2人
趣味	旅行、卓球、読書
夢	周遊世界
血液型	O型

《老師的一句》

汉语的外来语

李 丽

汉语里外来语很多，我给正在学习汉语的同学简单地介绍一下，我想大家一定会感兴趣吧。

在汉语里，自古以来就有一些外来语，如，葡萄、狮子、琉璃等，但并不占多数。到了唐朝以后才开始有大量的外来语涌入。当时进来的大多是佛教用语，其中的一些如今已经是汉语的一部分了，如，菩萨、阿弥陀佛等。近代以来，又大量的引进了西洋语，如，啤酒、咖啡、芭蕾舞等。在这些词中，有些是从日语来的，即由日本人翻译的西洋语，如，俱乐部、瓦斯等。日本人在翻译外来词时，有时造词，如，科学、错觉、大本营等；有时是对汉语里也有的词进行改造的，这些词后来又传入了中国，如，政治、经济、民主、革命等。

现代汉语里来自日语的“外来语”是惊人的。据统计，我们今天使用的社会和人文科学方面的名词、术语里有70%左右来自日语，离开这些“外来语”，现在的中国人几乎无法说话，如，法律、法庭、服务、机关、客观、总理、资本、作者、哲学、理论等，数不胜数。

外来语分意译、音译、还有音译和意译结合的三种译法。意译的词很容易懂也很中国化，如，电话、火车、鼠标、网页等。音译的词中，中国人在翻译国名时很友好，望文就可以生出好意，如，英国是“英明的国家”，法国是“法制的国家”，德国是“道德的国家”，美国是“美丽的国家”等。音译词中也很注意选择汉字，比如像雷达（Radar）、迪斯科（Disco）、奥林匹克（Olympic）、麦当劳（McDonald's）、三明治（Sandwich）等。但是，也有一些音译的词让人无法联想，如，派对（Party）、伊妹儿（E-mail）、粉丝（Fans）等。

音译和意译结合的词也很多，如，因特网（Internet）、迷你裙（mini-skirt）、比萨饼（pizza）、星巴克（STARBUCKS）、优衣库（UNIQLO）等。这些词在翻译时既照顾发音又照顾意思，但难度比较大。在我们现代的生活中，经常使用的词就有很多音译和意译翻译得很好的成功例子，如，系统（System）、啤酒（Beer）、领导（Leader）、可口可乐（coca cola）、香波（Shampoo）、奔驰（Benz）、宝马（BMW）、三得利（Suntory）、媒体（media）等，这些都是音译、意译两全的经典之作。

《受講生随筆》

学汉语的感想

開 実

1. 介绍一下我学汉语的感想

退休以后我进了这个教室已经过了六年。这个六年期间我学了很多有意思的东西。我被认真的同学们激励着，又佩服老师优秀学方法。我觉得进了这个教室真是太好了。我来介绍一下自己的收获吧。在上课老师教我们汉语和日语之间的不同，或区别。我很感兴趣。例如

- 1) 汉语不省略主语，日本不明确主语。
- 2) 中国人喜欢用动词，日本人喜欢用形容词。
- 3) 日语常常用被动式表达。我认识的中国人都是自己意见表达得很明确，我认为这是汉语的主语明确的原因。相反日本人暧昧的表达是因为日语的主语不明确。中国人的行动力强是因为喜欢用动词，日本人的情绪比较丰富是因为喜欢形容词。我觉得一个国家的语言造成了其国家的国民性，然而我常常被问，你学汉语干什么？我其实没有很明确的目的，不是想当翻译，也不是想把贸易做好。只要接触到中国语，能满足自己对中国的兴趣就可以了。

2. “千族”的故事

以前去北京的时候，游览的地方到处都有很多强卖人。有的人卖帽子，有的人卖玩物，还有卖围巾，毛笔的等等。他们的贩卖方法别提多会人头疼了。他们叫“千円”，“千円”。我们叫“不要了”“不要了”，不过强卖人还不死心。回国后我把这件事告诉了我的中国朋友。朋友说最近在中国出现了新的小民族。在中国现在有 57 个民族。出现的新小民族是“千円”“千円”的“千族”。我笑起来了。

3. 「ポックリ寺」

有时间的星期天早上我去附近的寺院。因为住持先生讲的话很有意思。我告诉你们一下。老年人自己死的时候希望不太痛苦和辛苦，希望马上自然死去。因为不想给孩子们和家庭添麻烦。还在日语说「ポックリ死にたい」。有一个寺院叫「ポックリ寺」。每天来这个寺院祈祷的话，那个人能快死去。附近的老年人非常高兴，每天到寺院参拜，那个老人就很快死去了。有一个老年人，他每天也去寺院，他也很快死去了。有三个这样的老人连续地死去了。所以这个寺院获得信用并出名了。不过后来到这个寺院参拜的老年人一个人也没用。虽然祈祷快地自然死去，可是内心不想死。

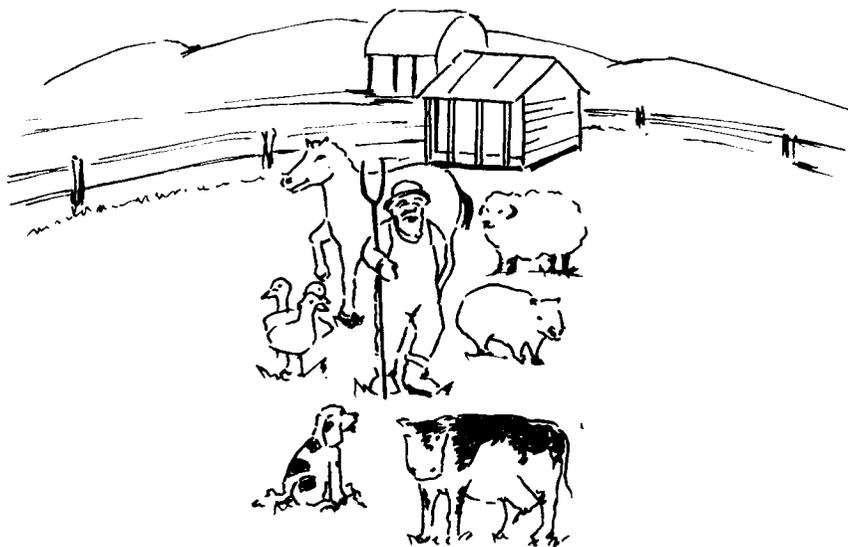
一个老人的自言自语

田上 昭二

听说日本人的平均寿命年年增长了。现在男性约七十九岁,女性约八十六岁。日本是世界上最长寿的国家之一。所以退休后,第二个人生开始,比如说从六十岁活到八十岁的人生是多么漫长啊。二十年间,或者七千三百日子都是业余时间呀!请大家想一想怎么办呢。不过人们年纪大了,谁都希望还很健康地工作,参加义务劳动,热中爱好等等。人们都希望享受自己的人生。可是这些事不会到什么时候都那么顺利的。

人们都不服老不行。老人们都有烦恼,比如说脑筋不灵,体力衰退等等。我现在七十七岁,一个人过日子。我已经变得好忘事,身体不太好,变成老花眼了。这些事使我伤起脑筋来了。而且,因为听力衰减了。我耳朵也有点儿背了。由于这件事,特别是上课的时候,我常常听不清楚,真成问题啊。日本的谚语说“生涯学习”是活到老学到老的意思。我打算努力地坚持学习汉语。请同学们多多帮助我。

我最后说一句话,“空巢老人”他是什么样的人?大家知道吗?



本町青少年水曜夜クラス

《クラス紹介》

小山 実子

この場所で2年目に入った今年は、新しく張偉栄先生を迎えて、クラスメートは13名となりました。皆、仕事や趣味に忙しく、全員揃うのはなかなか大変です。

授業は、教科書の他に、先生手作りのプリントで文法を学び、小グループに分かれて会話の練習をします。焦らずに、あきずに、楽しく“天天学 天天笑”の精神で続けるのみです。

みなさんどうぞよろしく申し上げます。

《老師プロフィール》

張 偉栄



出身地	天津
誕生日	12月9日 射手座
来日日時	2008年9月
中国出身学校	精華大学
今の職業	東京大学博士課程2年
家族	夫
趣味	読書、料理を作る
来日理由	勉強



《老師的一句》

用“焦糖布丁”给生活加点蜜

张 伟荣

平静的生活本身就是一种美，是我最近几年逐渐形成的一种感悟。成功是一种看似遥远的东西，为了追逐成功，我们才有生活下去的目标和力量，但却常常让我们在追逐的过程里忽略了现在的感受。而幸福感是我们此时此刻可以自己把握的心情，不需要很多钱，不需要很多的认可，不需要很多的努力，一件漂亮的新衣服，一顿丰盛的菜肴，一次轻松闲适的聊天，甚至一道精致可口的甜品，就足以让我们品味到生活的美好，从而获取幸福感，而这，是当下正在发生的，可以把握的。

就像钟情于甜品的我，希望能够再给平淡的生活加点醉人的甜味时，就开始琢磨制作一些小甜品，愉悦自己的同时，也愉悦了家人的味蕾。照片是我亲手制作的焦糖布丁，怎么样？



訳 塩キャラメルプリンで、生活をもっと幸せに

最近は静かな生活こそが幸せなんだって感じています。人生の成功はなかなか遠いものです。成功を実現するため、われわれは生きてゆく目標と力を持っています。だけど、成功を追いかける間に、日々のささいな感動をついに見落としてしまうことも多いです。本当の幸せは遥かに遠いかもしれませんが、今が幸せだという実感は自分で噛みしめられます。お金がなくても、他人に認められなくても、成功へ向けて力みすぎなくても、一着の素敵な服を着たり、一つの美味しい料理を食べるだけで、生活の甘味が味わえます。

甘いものが好きな私は、刺激のない生活にちょっと甘味を加えたい時にデザートを作り、自分で楽しむだけでなく、家族で舌鼓をうちます。写真は私の作った塩キャラメルプリンですよ。どうですか？

*カラー写真は本当においしいそうです(S)

《受講生随筆》

居酒屋にて

齋藤 陽子

職場の同僚たちと飲み会に行った時の事です。店には中国人の店員さんがいました。注文を聞きに来たときに、酔った勢いもあり、思いきって中国語で話しかけてみました。

「你是中国人吗？」

「すごいですねえ」

と日本語で一言。なんとか中国語で会話をしてもらいたくてこりずに

「我学汉语学了两年了！」

「すごいですねえ」

とまた一言。まるっきり相手にしてもらえませんでした。後から思うと酔っぱらいにからまれた感じで迷惑だったのかもしれませんが…。

私は病院で働いています。今年、中国人の看護師さんが入職してきました。職種や部署が違うので話した事もなく、時々見かける程度ですが、いつか中国語で話しかけてみようかとタイミングをうかがっています。お酒が入っていないので毎日ドキドキです。

チャレンジ！！のち 玉砕

佐藤 佐知子

先日「すみません」と話しかけられた。イントネーションが中国人っぽかった。どうやら道を尋ねたかった様子だったのですが、聞かれる場所の予測を勝手につけ、そこならきっと中国語で答えられると根拠のない自信があふれ、せっかく日本語で尋ねてきてくれているのに「中国人ですか？」中国語で話し掛けてみてしまった。

勝手な予測はあくまでも勝手な予測でしかなくて、尋ねられた行き先は想像もしていなかった私も知らない場所…。

「そこに交番があるのでそこで聞いてくださいと伝えればいいんだ！！
そうは思いつつ言葉が出て来ない…」

交番は 警察と同じ？？ ありますは 在？？ 聞いてください。は こうでいいのかなあ？？

しどろもどろの単語を並べ、伝えたつもりが、支離滅裂。日本語でだって

通じたはずなのに……丸2年勉強して、こんなもん?! 自信をなくしたものの、その方たちは、交番で道を聞いたあと、私のところに戻ってきて「発音がとってもきれいですね」と誉めてくれ、嬉しい気持ちにもなりました。

仕事も家事も遊びもしながら、週に一度教室に通い……会話ができる日は程遠い?? と思いながらも、会話ができる日を夢見て、まだまだ勉強は続きます。

自我介绍

青沼 利興

我叫青沼利興，在板橋区的公司工作。现在每星期六上午我跟加藤事务局长，还有其他人一起上丁老师的汉语课，是加藤先生介绍我来的川口日中友好协会的汉语教室。

现在每星期三晚上我都去本町青少年活动中心上汉语课。最开始的时候我觉得大概不会坚持下去，因为下班后太累了（而且我平时还要准备有关工作上用的专利代理人的考试）。可是我觉得坚持下去对我帮助很大，而且说中文的机会也多了，所以每星期三不管多累我都去。车到山前必有路。让我们共同愉快地学习中文吧！

请多关照。

訳

自己紹介

私は青沼利興といいます。板橋区の会社で働いています。今、毎週土曜日午前に加藤事務局長などと一緒に丁先生の授業を受けていますが、加藤さんから川口日中友好協会の中国語教室に来るように紹介されていました。

現在、毎週水曜日夜に、本町青少年センターで中国語の授業に出ています。最初、私は続けていけるのか自信がありませんでした。仕事の後で疲れているし、弁理士試験の勉強もあるからです。しかし、続けていくと中国語を話す機会が多くなります。そこで、どんなに疲れていても、努力していけば、道はひらけます。一緒に楽しく勉強しましょう。

よろしく願いいたします。



協会木曜朝クラス

《クラス紹介》

森 基悦・後藤 和可子

当クラスは中国語とお付き合いを始めて3年から5年を経験した9名に、新規編入の1名を加えた男性、女性それぞれ5名のバランスのとれた集団です。

しかし、入門から初級と学んできて、何とか判るが自信が無い、一抹の不安を感じ、どうしようかと悩む世代にさしかかった感があります。

本年度は、新進の徐琴老师をお迎えし、『自分の言葉で中国語』を教本に“一步前進”と気を引き締めているところです。

《老師プロフィール》

徐 琴

出身地	江蘇省南通市
誕生日	11月29日
血液型	O型
来日日時	2008年9月
中国出身学校	南京農業大学
日本での職業	学生
家族	祖母、父、母
趣味	音楽・旅行・料理作り
来日理由	留学
夢	皆が幸せになる



《老師的一句》

最新汉语流行词汇—您知道吗？

徐 琴

在日本呆得越久，就越不知道最近的中国是什么样了。因此，我边向朋友打听，便从网上搜集整理了一些有关社会现象的新词，在此与您分享。

- “啃老族” 也叫“吃老族”或“傍老族”。他们并非找不到工作，而是主动放弃了就业的机会，赋闲在家，不仅衣食住行全靠父母，而且花销往往不菲。年龄都在 23-30 岁之间。
- “奔奔族” 1975—1985 年出生的人，中国社会压力最大的族群。他们一路嚎叫地奔跑在事业的道路上，身处于房价高、车价高、医疗费用高的“三高时代”，时刻承受着压力，爱自我宣泄表达对现实的抗争。
- “宅女”、“宅男” 起源于日语的“オタク”。整天呆在家里，活在幻想自己幻想里的人。
- “剩女”、“剩男” 现代都市男女，他们绝大部分拥有高学历、高收入、高智商、长相也无可挑剔，因他们择偶要求比较高，导致虽已是结婚年龄，在婚姻上仍得不到理想归宿。
- “周末夫妻” 夫妻双方因为工作或求学等因素而分居两地，只能一周或半个月才相聚一次。
- “单身贵族” 单身贵族是指没有固定伴侣，没有子女，又富有的人，多指白领阶层。
- “丁克族” 双职工，能生但选择不生育。

……

还有很多此类词语。

我总结了一下：这些词一般描述的是二、三十岁的年轻人。而且，相对农村，此类现象在城市比较普遍。通过这些新词，我们可以发现：中国人的社会观、价值观在不断发生变化。

訳

最近の中国流行用語—知っていますか？

日本にいればいるほど、最近の中国が分からなくなって心配する。従って、友達から聞いたり、インターネットから検索したりして、社会現象に関する流行用語

をまとめるようにした。

- 「啃老族」 親のすねをかじる一族。
- 「奔奔族」 1975年ー1985年の間で生まれ、中国で社会からのプレッシャが一番たまっている一族。
- 「宅女」「宅男」 日本語のオタクが語源。社交的ではなく、暇になると家に引き籠もる一族。
- 「剩女」「剩男」 適齢期になっているか、それとももう過ぎているけれど、まだ結婚の見込みがない取り残された人たち。
- 「週末夫婦」 平日、別々違った都市で働いて週末しか会えない夫婦。
- 「单身貴族」 結婚したくない、金銭的に余裕のある若者達。
- 「丁克族」 結婚しているけれど、子供が欲しくない一族。

……

まだまだ沢山ある。

以上のような流行用語が若い世代（20代、30代前半）に関するものが多いようである。また、都市のほうでこのような現象が多い。社会経済の成長につれて、中国人の社会観、価値観なども少しずつ変わっていることが分かる。

《受講生随筆》

四川旅行

佐々木 由利子

我和我丈夫去年10月15日到21日去了九寨沟，黄龙，成都，峨眉山和乐山。我以前在电视上看了九寨沟和黄龙的节目以后，一直想去这些地方。这次旅行本来定于今年去。但是听说还是趁尽可能年轻时去好。因为这些地方在山地，要走很长时间路，容易得高山病。所以我决定提前去了。我买了便于走路的鞋，而且为了不得高山病，一个月期间每天都吃维生素和铁分，钙等营养药。

准备好了！

去这个旅行很高兴，不过有点儿不安。因为两年前去西藏的时候有点儿高原反应。旅行团一共三十三个人，上了年纪的人很多。

我经过上海去成都时，为了改乘国内飞机等了五个半小时。成都晴天不太多，听说这里的狗如果看到太阳都大吃一惊得叫起来。

我在大熊猫繁殖中心看了出生后三个月大和生后不久的婴儿大熊猫，真可爱！

听说旅客抱大熊猫一起照张相，要一千块。太贵了！我还看了川剧。变脸太棒了！乐山大佛是世界最高的大佛，有七十一米高。

从飞机上下来时的时候，九寨黄龙机场里有一个中国妇女晕倒了。她得了高山病，昏迷不省的样子。机场海拔三千五百米，气温两度左右，空气稀薄。

黄龙好像是从别的世界来的，美丽极了！去黄龙从中途能坐索道上，比较轻松，下去的时候，楼梯很长，很辛苦。感觉膝盖在颤动。我们一边休息一下一边慢慢儿走，来回用了四个半小时。没坐索道走上去的人们看来都非常痛苦。几个人得了高山病，她们好像很不舒服的样子。

九寨沟的水很清，清澈见底。还有几个瀑布。正是红叶的季节，非常漂亮。不过红色很少，大部分是黄色和橘黄色。我的心里有一种说不出的感动！

我在九寨沟看到了拍婚纱照的新婚夫妇。第二天在到西安的飞机上偶然看见他们坐在我前面的位子上，用汉语说了话。

因为下雪，每年从11月开始九寨沟和黄龙就会封山。这次旅行中几乎没看到美国和欧洲的旅客，中国人和韩国人很多。导游说在美国和欧洲等地方还没宣传九寨沟和黄龙。现在在九寨沟有一百家酒店。我觉得今后来这里的外国人会越来越多。九寨沟的旅客比黄龙的还多。我，我丈夫跟几个中国人打招呼了，很开心！

这次旅行很顺利，太好了！听说前一天飞机的出发时间晚了六个小时，第二天下雪了。我们运气真好啊！

如果计划进行顺利的话，明年从成都到九寨沟火车就可以通车了。

旅行时我走了很多路，腰疼、膝盖疼、后背疼，累坏了！我还吃了正宗的麻婆豆腐和川菜，中国菜真的都很好吃，所以我胖了一公斤。

旅行时很舒畅，但是现在又回到了原样。我回日本过了一阵儿后，又憋不住想去中国旅行了。中国旅行真开心啊！

想愉快地学习

户石 丰彦

〈高老师的一句〉“学习也是玩儿。玩儿得好才能学习好。”以这句话作为自己的指南，这一年努力前进。还要通过学习汉语，想加深理解中国文化、历史。

请大家今后多关照。

我要努力学好汉语

白根 晴代

从四月开始来这个教室学习。是新生。但是，不年轻。想变得能说中文，为此努力学习。

美丽的春天

小林 直美

我把我们家四代人兴高采烈地一起去旅行的事写成中文。

前天，我女儿的公公、婆婆来日本了。

我和丈夫带着他们一共七个人一起去了“热海温泉”住了一晚。从东京到热海开车大约要一个多小时。

到了热海后，我们坐船去“初岛”，然后我们去吃午饭和散步。初岛的风景很美。从高一点的地方只见大海翻着浪花，看上去舒服极了。

热海的旅馆，我喜欢什么浴衣就穿什么。当天晚上，我们洗了温泉，一边洗露天温泉，一边看浪漫的夜景。一边喝酒和聊天，一边还吃了美味的菜肴。度过了快乐的时光。

第二天，我们又开车依次去了“芦ノ湖”、“箱根关所”、“駒ノ岳有轨电车”。听说，如果在大涌谷吃黑鸡蛋的话，可以多活七年。当然我们吃了。

我问他们：“你们对日本的印象怎么样？”

他们说：“高速公路上，大家开车时很有礼貌。日本的卫生间哪儿都很干净。

日本的料理真好吃。把食物盛在碟子里真漂亮。”

那天天气不错，不冷不热，我们去哪儿都能看到富士山。漂亮的樱花和风景给我们留下了很深的印象。真是一次难忘的旅行啊！

我打算五月份和七月份去上海，我一定会看上海世博会。我想亲身感受充满友好的气氛。为此，我要努力学习中文，了解中国。

厦门是个好地方

长岛 悦子

今年三月末我跟朋友与厦门旅行了四天。

厦门在中国的南方，鼓浪屿很有名。

那地方是旧租界地，好像跟青岛一样。然后，我坐游览汽车去了客家土楼。

土楼是很圆的公寓，从上往上楼看好像一个面包圈。

旅行的时候，天气不冷不热。厦门是个很好的地方，厦门人很热情。

厦门菜很好吃。

我向大家推荐厦门旅行。

不想打消念头

土屋 孝一

时光过得真快。

我已经在川口汉语教室学了四年汉语了。

回顾这四年，我度过了很快乐而且充实的四年。

即使那样，同学们都已经会说汉语，但是我连简单的汉语会话还不会说。我明白这其中的原因：是自己的努力不够。

汉语很难，可是我很喜欢汉语。不知为什么我觉得跟中国很有缘分。

我今年的目标是学会简单的会话汉语。所以到实现这个目标，我不想打消学汉语的念头。 我的理想是学会说汉语。

我已经上了年纪，不过打算朝着自己的理想努力学习下去。

请老师和各位同学多多指教。

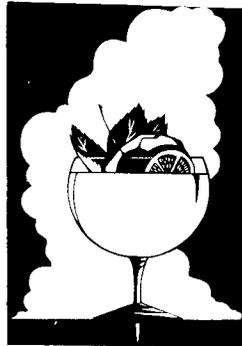
学习汉语是件快乐的事

木下 靖夫

我从开始学习汉语到现在，已经有三年了。

我觉得时间过得真快，汉语进步很慢。可是因为学习汉语，不但学到了语言，而且知道了中国和中国人，还遇见了新朋友。那是极好的事。

虽然在自己的速度下学习，但是今年也要好好学下去。



協会木曜夜クラス

《クラス紹介》

前田 稔夫

私達のクラスは、男子受講生 3 名、女子受講生 5 名の平均年齢 50 歳を超えるクラスです。中国語とのお付き合いも飽きもせず 20 年から 10 年といった人たちで構成されています。お付き合いは永いけれども、中国語は堪能とは言えません。教科書は北京大学中国語講座の『大家説漢語』を使用しています。

メンバーは、ベテラン老師でやる気十分の王梅先生、中国語の歌をア・カペラで 20～30 曲は暗記している S 氏、中国・日本国内を問わず旅行の上手な H 女史、詩吟は師範級、協会は会計・副事務局長を担当の U 女史、中国一人旅は年中行事、しかもわれわれの《にいはお》の政策担当という T 女史、ベテラン看護師で中国一人旅の好きな S 女史、今年から編入の中国好きな K 氏、中国語教室の責任者で、公私ともに超多忙の H 女史、電腦塾代表の後期高齢者 M 氏、以上 8 名それぞれに個性あふれるメンバーを取り揃えております。

このクラスは協会行事・教室行事には全員参加で強力に協会・教室活動をサポートしております。他のクラスの皆さんも我々の教室・協会をさらに発展させて、安くて楽しい中国語教室をエンジョイするために、ご協力をお願いします。

《老師プロフィール》

王 梅

出身地 湖北省武漢
 誕生日 3月16日
 来日日時 1994年10月
 出身大学 上海外国語大学
 家族 主人、娘（独立）
 趣味 旅行
 夢 健康で人生を楽しむこと
 血液型 B型

《受講生随筆》

2009年 昆明・大理・麗江の旅

田村 由美

2005年は上海周辺をリュック担いでふらふらした。2006年は行きと帰りの北京のホテルだけをネットで押さえて、現地のツアーに参加。2007年は高すぎる格安航空券を手にも、鄭州・洛陽へ飛んだ。北京オリンピックの2008年は北の地、大連・長春・瀋陽へ。そして、2009年、雲南を目指した。

1. 昆明は田舎ではなかった

上海や北京や広州や西安や…今まで出かけたのが大都市だったから、雲南は昆明、田舎だったらどうしよう。そんなことは全くなし。「春城」の名の通り、夏なのに長袖でばかばか歩いても汗をかかない！今回は機動力を全開にして動き回った。

直行便がなく、ソウル仁川空港での乗り換えも週2便しかない。インチョン（仁川）はすばらしく快適。ただリュックをかついでうろうろするのが重いだけ。昆明に着くともう深夜。そして雨。両替してタクシーへ。予約したホテルじゃなさそうなお高いホテルで、「ここだ」と言われる。「ちがう」と言ったら、その隣のぼろいビジネスホテルだった。チェックインも日本で予約した会社が住所間違っていたから、「隣の（お高い）ホテルへ行け」と言われるが、「調べて！夜行の切符もあるはず」と交渉。成功！無事入室。

翌朝うるさくて目覚めたら下が長距離バスのターミナルだった。荷物を預けて、まず駅の下見。地図を購入。初めて、現地で航空券を買うために、東方航空へ。麗江からの戻りのチケットを購入する。「私は昆明でツアーに行きたいから、夜遅く着くと買えないから」などと英語と中国語混じりでお姉さんに交渉。無事に買えました！670元。(リッチ①)その後、大観公園へ。大観楼に登る。池のそばが涼しくて木陰だと寒いぐらい。飲み物、朝用のパンを購入。リンゴを買ったら、「ほかにはいらぬの？」という言葉が聞き取れた。荷物を取って、夕飯は「过桥米线」(1回目)を食べる。おいしくない。食べ方がわからないで、来たスープを飲もうとしたら、子ども連れのお母さんが止めてくれて、店の人に「やってあげな」といつてくれた。多謝！

軟卧下铺に乗り込み、このために買った海外使える携帯から北京の友人に電話。



2. 大理

この線路は昆明と大理しかつないでないと、書いてあった。ホームから山が見え、雲がかかっている。地図を買って、早朝の駅で、バスを探す。たくさん停まっていた。「大理西门」行きに乗るが、どこで降りるかわからない。古城内は大きなバスが通れる道は決まっているよう。地図とにらめっこ。「このバスでいいのかしら？」と後ろの西洋人。とっさに「東門すぎたから」と英語で言えない私。「玉洱公園」のバス停で降りたら、ホテルは目の前だった。後ろの西洋人は「降りちゃうの!？」「兰林阁酒店」は白族の伝統建築様式で、いくつかの棟に分かれている。私の棟は「怡园」。従業員もきれいな民族衣装で、部屋も中は近代的できれい。ホテルの裏に一杯飯屋とかラーメン屋が並ぶ。今回は古城内の古い民族のホテルを選んでみた。麗江までの長距離バスは、城外に買いに行かず、ホテルで頼む。65元(リッチ②)フライトと日程の都合で1泊しかできないので、行動開始。バス停を探し、見つけ「三塔公園」を目指す。通し券を買い、電気カートにも乗り、崇聖寺まで行く。帰りもカートに乗り、古城内へ戻るバスに乗るが、バスが大きいので「大理」と書いた南門を過ぎて、文献楼まで行ってしまう。また、バスに乗ったら運転手に「あんたどこに行きたいわけ？」と聞かれたので、「南門」と答えた。南門から城内はテーマパーク化してるといわれる麗江よりはいいけど、お土産屋さんがずっと並び、西洋人向けのカフェなどが並ぶ。涼しい。夏じゃないみたい。夕飯はホテル裏の飯屋、おかず4品を皿にもり、白米付きで4元。帰りに買ったアイスココアが8元。

2日目、携帯の充電器が煙をはいておだぶつ(日本の電話会社の人がこれで大丈夫といったのだ!)電源切れるまで、メールできた。日本の友人から「今夜遊びにこない?」「今大理だから無理」など。大理博物館へ。天王像がなかった。お昼は裏のラーメン屋へ。「砂锅饵丝」を食べる。この面は餅米だとあとで判明する。すごくおいしかった。迎えのバンをまって、東門出たところでおろされ、またまたよくわからないので親子について豪華バスまで行く。4時間ほどで麗江に着くが、ターミナルでおろされた。ここはどこ?とうろろしていたら、リュック担いだお姉さんが、声かけてくれて一緒に麗江古城まで。タクシーの運転手「あなた日本語しゃべれるの?」お姉さん「しゃべれないけど、彼女(私)は英語と中国語がちょっと話せるのよ」という会話が聞き取れた!

この旅でやりたかった事といえば、もう少し大理にいて、湖の回りの少数民族の村をうろつきたかった。山も近く、大理はととてもすてきな街だった。

3. 麗江

世界遺産の街「麗江」。憧れだった。車をチャーターしないと行けないなど、昔のガイドブックには書いてあったが、今やテーマパークだ。水車のある麗江古城の入り口から人・人・人…。石畳を歩きながら、古城内の纳西族の伝統建築の三合酒店へ。入り口は簡単な受付があるだけで、渡り廊下を歩くとやはりいくつかの棟に分かれている。案内された部屋のドアの鍵が「南京錠」！部屋の中はペンションみたいな家具（中身は現代様式）ただ、掛け布団のたたみ方が変わっていた。壁際に縦にたたんである。でも、雰囲気とか大変気に入る、夕食に外出。麗江古城は石畳の道が迷路のように巡っている。古い街並みがずらっと全部、お土産屋か商店かレストランかホテル。景観保存という感じ。洋風のカフェが多い。大理ビールは冷えてない。中心の四方街へ。人が集まっている。観光客向けのお店が多い。歩きながら「东巴宮」へ。「入れますか？」と聞くと、「チケットはあるの？」と聞き返される。案内されて120元の席を購入(リッパ③)午後8:00から纳西族のショーが始まる。物語仕立てで、お芝居あり、民族舞踊あり。9:00からやけにお客が増えた、つまりショーが高価で後はライブハウスなのだった。中国で一人で夜のショーを観たのは初めてだった。

2日目、ホテルには食堂がない。向かいのカフェでチケットをもらって朝食(洋食)。昨晚あれほどいた人がいない。散歩して、古城外へ出て「トンパ博物館」へ。バスがわからないので、タクシーに乗った。降りるときに、「空港までいくらで、どのくらいか？」と質問したら、「予約するか？」という事になり、100円で予約する。(リッパ④)運転手もホテルの人も今や、携帯の番号を聞く。電源なしと言い方わからないので「坏了」というと、みな納得する。「自分は木だ」と運転手。纳西族の名字だ。トンパ博物館は、案内人がいないと電気がつかないので、説明を聞きながら(わからないけど)ゆっくり回る。中庭にはトンパ先生らしき老人がいた。

すぐ外が「黒龙潭公園」の裏口。入ろうとしたら「古城維持費の券があればタダ」「部屋に置いてきた」というと、「午後9:00までやっているから、とってきな」という会話ができた！！入園料は80元、古城維持費は80元。バスでいったん戻り、麗江名物の焼き餅(纳西粑粑)「おこのみやき」みたいなのを頼む。「塩味？甘い？どっち？」と聞かれた。部屋に戻って古城維持のチケットみたら、身につけておけ、と書いてあった。その後、「木府」へ。清朝の支配の中、うまくやり抜いた麗江を監督していた木氏の住居と仕事場。階段状に上に上にと上がっていく。一番上からは麗江の瓦屋根の街並みが一望できる。そして夕方再び「黒龙潭公園」へ。タダで入った。雨が降ってくるが、

空が明るく、「こちらに玉龍雪山が見えますよ」という方向は曇っていた。夕方古城内はどっとまた人が増えた。夜「纳西古音乐」へ。140元（リッヂ⑤）値上げしてる…。チケットには席番が明記してあるのに、席がない…。「いいから160元の席に座っちゃえ」と、お客も係員まで言う。おじいさんばかりの古楽だったけど、構成も内容もすばらしかった。

3日目は、約束した時間に木さん来て、雨の中空港まで。そして、再び昆明へ飛んだ。

4. 再びの昆明

大理と麗江は少数民族の地だった。昆明はいい天気。昼間だから、空港外のバス停から、ホテル近くまでバスに乗る。今回バスは少ないが（リッヂ旅なので）昨年度の反省をもとに、運転手の顔を見て、お金を入れる。今回のホテルは、ネットで取ったが過去最高に安かった。それは、ホテル付属のユースホステルだったからだ。ホテルっぽい感じの古い家具やはげた壁のツインルームで、なんだか歌の練習とか聞こえる。西洋人のいい年のおじさんが、短パン姿で洗濯物を庭に干している。フロントはなし。こういう経験は初めてなので戸惑った。ホテルの門の所に旅行会社を見つけて、さっそくツアーの申し込みに行く。昆明と言えば、「石林」！翌日のツアーを予約。マニアックな「九郷」のツアーも翌々日に予約。親切なお姉さんだった。目的達成したので駅まで出てみる。駅からバスを探し、「円通禅寺」、「翠湖公園」と回り、バス乗り継ぎ、ホテルへ。夕食は洋風のカフェ（多いんです昆明にも）。

2日目 7:50 部屋でツアーの電話を待つがこない。8:45 ホテルのフロントへ相談に行く（旅行会社はしまっている）「うちのツアーではない」と言われたが、なんとかお願いしたら、「ホテル内の旅行社が助けてくれるかも」。旅行社へ行くと、「うちのツアーじゃない」でも、電話してくれ、出ろといわれた。ドキドキしながら説明。「再び部屋で待て」といわれ、戻ると電話があり、迎えるの車に乗る。しばらく走り、途中でバンに乗り換えた。運転手、ガイド、お客が3人。長春あたりから来た人たちらしかった。そのまま団体に合流せず「石林」へ。お昼はついていたはずなのに、10円で自腹。わかんないから3人におまかせ。2回目の「过桥米线」すごくおいしかった！！どんぶり自体が焼かれてあつあつ。中においしいスープ。そこに具を入れ、薄切り肉とかしゃぶって、面を投入するのだ。石林が景観はすごいけど、規模的に世界遺産にはなれないなと思いつつ、お店を3軒回らせられて、ホテルへ。旅行会社が空いていたので、明日の事を確認に行く。「明日は大丈夫か？」「絶対大丈夫」「たくさんホテル回るからここは遅いのよ」との返事。部屋のお湯がなつかしコルク栓のポット。お湯をもらうのに内線をする。授業で「稍等

一下儿」と習っていたけど、そう言われて「やっぱり使うんだ～～」としごく納得。東方航空でも言われたな。夕飯は最後の夜なので、近くの「过桥米线」屋へ。40元のセット(リッパ⑥)を頼んでみた。すごくおいしかった。3回目である。1回目の時と同じチェーン店だったのだけれど。

3日目、最後の日今夜深夜の飛行機でソウルへ飛ぶ。「いやなことありませんように」しかし！電話がこない！！やっぱりホテル内の旅行社にすればよかった。頼んだ旅行会社が空いていたので行く。お姉さん電話して怒っている。「昨日も忘れたでしょ！！」

そして「已经走了」はつきり聞き取れましたよ。「もういっちゃった」…。「お金を返してもいいし、明日なら必ず行ける」と言われましたが、今夜の飛行機だから断念。80元返してもらった。

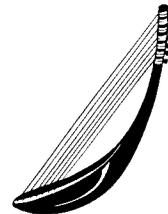
気分を取り直して、滇池で船に乗ろうと、再び大観公園へ。楼外楼を見つけ、船着き場の張り紙を読む。「滇池は工事中です」しばらく待つけど、誰も来ないからあきらめて、「西山森林公园」に行くことにする。(大観公園から船だと60元でした)あまりにも風が心地よく、ぶらぶらしてからバスへ。西山は滇池の東側にある。51路のバスを春城路で待つ。しかしバスは来ない。おじいさんが声をかけてきた。「どこ行くの?」「51路待ってる」「普通なら30分に一本はあるはずだ」おじいさんがいろいろな人に聞きまくり、「错了!!」と言われ、母子連れと私、おじいさんに引きずられ、大きな道路柵をまたいで、しばし歩く。歩きながら「どこから来た?」「一人か?」「それはすごい!厉害!!」と会話。「厉害」ってこういう時に使うのだと実感する。すぐに目的のバスが来て乗り込む。終点まで乗っていたのは、おじいさんと私。降りてすぐにミニバスのお姉さんが「龙山!」と叫んでいたのも、おじいさんに手をふって乗り込む。山頂まで行き、リフトに乗る。滇池が真下に見える。滇池を渡るゴンドラを発見!(あとで乗りました)龙门から降りていく。「龙山」崖際に小さいが石窟が点在。出口まで降りて、電気カートに乗り、はじめの場所へ。そこからゴンドラに乗り、滇池を横断。この際だ、雲南民族村に行っちゃえ、とタクシーを探したら、専用カートが始めに入場料を取った。南門から入ったが、各民族村のショーは終わっており、蒙古族、壮族、纳西族と回ったら、纳西族の新婦の部屋の模型の布団のたたみ方が!麗江のホテルと全く同じだった!!白族のところで食事。タイ族をまわり、出た。バスを乗り継ぎ、ビールをのみ、荷物を取って空港へ。深夜の出発なので待ったが無事に昆明を飛び立ち、インチョンで乗り換え、翌日の昼には家に戻った。結局、九郷ツアー80元よりかなりかかってしまった。(リッパ⑦)

5. まとめ

中国の大きな公園では、体操をしたり、トランプを囲んだり、今回はオペラの練習とか、古楽器をひいていたりとかした。昆明は夏でも涼しいからか、人がたくさん出ていて、ラジカセを流しながら、ダンスを教えているおばさんがいた。民族舞踊じゃなくて創作したものだ。もし、中国に住んだら、日曜日は私もダンスを教えに来よう！そうしよう！と決意した。

住むなら絶対雲南省。この気候は捨てがたい。今回は、かなり自然に会話が聞き取れたのがうれしかった。もっと勉強しよう。かなり活動的に動き回った分、人々との交流も多かったかな。大理のろうけつ染めのお店のおばさんや、石林に同行した3人、バス待ちの時のおじいさん。みんな親切だった。遺跡や街並みを歩き、その土地の布団のたたみ方に感動する。多数の民族とその習慣に偉大な歴史を感じる。限られた時間で自分的には今回は「リッチ旅行」だったけど、最終的にかかった費用はいつもと変わらなかった。

さて、中国は広い。現地ツアーに2回も置き去りにされてもくじけず、行くところはたくさんある。知らないこともたくさんあり、感動は私を待っている。次はどこへ行こうかな。



協会金曜朝クラス

《クラス紹介》

山村 栄子

私たちの班は、8年目を迎えました。これまで何度かメンバーの入れ替えがありましたが、その都度、規定の7人以上を確保し時には熱心に、時には楽しんで勉強を続けてきました。今年も大きな入れ替えがあり、当初から続けている2人を含め、総勢8人（男性2，女性6うち特待1）で始めています。これまで学んできた学習の成果は、それぞれですが、それが刺激になり学ぶ意欲へとつながる、そんなちょっと真面目なクラスです。でも、みんななかよしです。今年も、元気な小原先生と共に、言いたいことを言いながら和気藹々と授業を受けています。今年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

《老師プロフィール》

小原 春輝

出身地	陝西省西安市
誕生日	1月28日
来日日時	1995年1月
中国出身校	西安外国語大学
日本での職業	非常勤講師
家族	四人家族
趣味	人間観察
来日理由	運命
夢	中彩票

《老師的一句》

散心去

小原 春輝

来日本十几年了，每天忙忙碌碌。我发现在日本，人人都在忙。大人忙，小孩也忙。上班族忙，主妇们也忙。人们见面的寒暄话也是“忙不忙？”也许不只日本，中国现在也是这样。也可能全世界都在忙，人类新思潮吧！

前几天看书，无意中看到：说‘忙’这个字，很可怕。这个字从字面上解释是‘心死’的意思。吓了一跳。仔细想了想，觉得还真是那么回事！每天忙来忙去，什么也不想，什么也不感受，没有感动。整个一个机器人，心当然会死。感叹老祖宗造出的汉字还真是又精辟，又可怕。一直闷闷不乐，怕自己心会死。

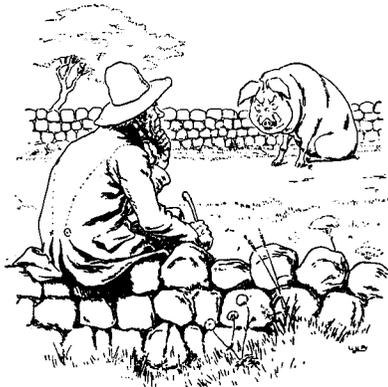
有一天，闲来无事。天气又好，觉得不出门实在是可惜。灵机一动，散心去吧！到哪儿去呢？干什么去呢？不知道。

悠悠荡荡出门到车站，正好有公共汽车要出发。当即坐上，开始了一场没有目的的小旅行。因为不是休息日，且过了高峰期。汽车上人很少，一位老奶奶，衣着整洁，画了淡妆，神情有些拘谨，大概不经常坐车。或者一位年轻妈妈，抱着婴儿，很幸福的样子。或者刚下夜班的上班族，闭着眼睛在睡觉……我观察每一位乘客，看他们的面容和衣着，感受他们的生活。觉得很有意思。

看了一会儿人（不能老盯着别人看，万一被认为是死盯客就坏了），又看外面的风景。面的风景也很好看。散步的老夫妻俩，谁家院子里漂亮的花盛开着。偶尔也会看到收拾院子的人。

觉得无聊了，那么下车吧。就象我喜欢的一个日本电视节目〈途中下车〉里那样子，信步游走着，逛一逛小店，看一看街景，和人说一说寒暄话。肚子饿了，找一感觉好的小餐馆，吃一顿丰盛的午餐……很快乐的一天。有一种触摸生活的感觉，有一种给快死的心充了电的感觉。

我想，每个人都有自己散心的方式。只是不要忙得忘记了呀。请记得对自己说：今天散心去！



《受講生随筆》

黄金周

山村 荣子

今年の黄金周，我大概去札幌住。在札幌樱花盛开的期间，经常是黄金周后一半。北海道神宫公园里很多人坐在树下，一边儿看花一边儿吃烤羊肉。我也打算去那儿赏花儿。

小时候，到了黄金周我们全家人一起在家后面的院子里干农活。父母喜欢种菜。我也喜欢种菜。所以下课以后常常除土地里的草。父母到了高龄，他们搬家了。现在住的是公寓。我每到了这时候，总想起来种菜的事。

訳

ゴールデンウイーク

今年のゴールデンウイークは、札幌にいます。札幌では、サクラが満開になる時は、いつもゴールデンウイークの後半です。北海道神宮の公園には、おおぜいの人がサクラの木の下に座って、花をみたり羊の焼き肉を食べたりしています。私もそこに行って花を愛でるつもりです。

子供の頃、ゴールデンウイークになると、家族全員で家の後ろにある土地で、畑仕事をしました。両親は、野菜を植えるのが好きでした。私も好きでした。それで、授業が終わるといつも畑の草むしりをしていました。両親が高齢になったので、引っ越ししました。今はマンションに住んでいます。わたしは、この時期が来るたびに、いつも、野菜を植えたことを思い出します。

黄金周

水上 外美子

五月的连续的假日（黄金周）这个词，对我来说已经成了不必要的词。因为现在不做工作了，可以说天天差不多是假日。

一般在日本人们一到黄金周不怕拥挤就想去行乐地或者想去国外旅行。我以前也那样想也那样做。可是孩子们都长大成家了。我和我老伴两个人现在一点儿也不想那样做。没有那么大的精力了。只通过电视机看别人过黄金周的样子。

啊---我老了！真怀念年轻的岁月啊。



有啤酒吗？

今泉 弘幸

去年九月中旬，我去台湾旅游。到外国去旅游的话，要好好儿准备就一路顺利。去一家旅行社“HIS”买了便宜的机票，去“BOOK OFF”买了一本100日元的旅行指南书“台湾の歩き方 2002-2003”，在因特网上预订了家便宜的旅馆。

● 第一天

第一天早上就上街逛逛。我住的旅馆在西门捷运站（西门捷运站：地下鉄西门駅；捷运：地下鉄）附近，看着旅馆服务员刚给我的观光地图走着去台北车站。台北的信号灯标明绿灯变化红灯的秒种数，方便多了。台北人还是跟香港人、深圳人一样不太守交通规则。



在台北的铁路除了“捷运”以外，还有“台铁（国有铁道）”、“高铁

（新幹線）”。坐“台铁”或“高铁”的话，可以去别的城市。我对自己问：“试试看去‘台中’怎么样？不过车票怎么买好呢？”哦，太巧！那里有“问讯处”。问讯处的服务员用日语告诉我买车票的办法。“台铁”车里，首先用中文广播，下次用我不知道的语言广播。在“捷运”车里禁止饮食，不过在台铁车里，从有的车站可以饮食。在车里卖“弁当（駅弁、弁当）”，很多客人买“弁当”。

台北也非常热，不过“台中”更热。我虽然喜欢热的气候，但是“台中”那样热的气候受不了。我就打消了游览“台中”，还有放弃了有时间的话到“高雄”去玩儿的念头。找了便宜的饭馆儿，来个“排骨炒饭”，接着对服务姑娘说：“再来一瓶啤酒。”服务姑娘说：“啤酒——，没有”。在台湾便宜的饭馆儿要20-60块左右可以吃饭吃面（一块；3-4日元），可是几乎便宜的饭馆儿都没有啤酒。那个姑娘想一想叫我：“过来，过来。”她带我隔壁饭馆儿指着冰箱说：“在这里买啤酒吧。”买了一瓶啤酒就到那姑娘的饭馆儿回来，吃排骨炒饭，喝啤酒了。

台湾是个“果汁王国”，到处都卖果汁。那天在台中和台北喝了好几杯果汁。到台北回来后，为买白酒、水、小吃找超市也找不到了。台北没有超市，只好在便利店买了白酒什么的。我每晚上喝着酒吃着小吃看电视连续剧。除了有些香港电影以外，我什么中国电影也都没感兴趣。中国电影叽叽喳喳地讲人应该怎么生活什么了不起的？我特别不喜欢的导演是“陈凯歌”和“张艺谋”。听说他们很有名，可是我觉得他们拍的电影导演得既很一般又一点儿也没有出色的

好处。谁说“章子怡”非常好看？我嫌她演得又一直单调又一点儿没有独特的风格。不过，我发现了有些中国、香港、台湾合作的电视连续剧非常好玩儿。尤其是“金庸”原著的武侠连续剧让我启发了解中国传统。在台北深夜“CATV”放很多武侠连续剧。

●第二天

第二天早上，旅馆附近散步的时候，突然肚子疼。我赶快去了“二二八和平公园”就上厕所了。拉肚子原因就是昨天喝过了冰的果汁。要找“药局”买药。在“药局”问服务员：“拉肚子，肚子疼。有药吗？”服务员说：“拉肚子，肚子痛。”那时候我想起来了王梅老师说过北方人说“疼”，南方人说“痛”。买药了就到旅馆回来，吃药后休息了一会儿。那药的效果很好，马上精神了。然后，又逛街了。



走路时，有的饭馆儿服务阿姨对我说：“欢迎光临！”我问她：“有啤酒吗？”服务员说：“有。”我高兴地进那店去了。不过冰箱里看不见啤酒。怪不得，那个服务阿姨自己去对面便利点买回来了一瓶啤酒。

台北非常大的城市，那天晚上我迷路了。找不到车站的话，打听或者打的就好了。我有时间，不慌不忙地逛台北市。那时候看见一家按摩店。店里有很多年轻姑娘。要是黄色店吗？可是墙上用日语写着“女性一人でも大丈夫です。”我问男服务员：“多少钱？”他回答：“两个小时，二千四。”贵是贵，不过那时候我太累了，就答应了。

年轻姑娘按摩的用日语说：“こんにちは！”“哇，你会说口语呀！”“一点点。”“我中文也一点点。”“你说中文很厉害。”“哪儿啊。太不怎么样。你为什么会说日语？”她以前在日本孩子念的幼儿园工作，所以知道几个日本单词，比如“おはよう、さようなら、ごはん……”什么的。不过她不会说日语句子。

我们俩聊天儿了两个小时。“你一个人来了吗？”“是的。”“怎么来台湾的？”“坐飞机来的。”她笑着有点儿用劲儿按我的腿。“疼！轻点儿。对不起。不是工作，来旅游的。”“你去了哪里？”“昨天坐台铁去了台中。对了，台铁里用我不知道的语言有广播，那语言是什么？”她告诉我，在台湾“中文”叫“国语”，台湾方言叫“台语”。“你会说台语吗？”“当然会。不过一般说国语。”“你们台湾人都会说两个语言，很厉害。”我问她：“你跟爸爸妈妈一起住吗？”“不，跟朋友一起住。”“朋友？你的同屋是男朋友吧。”“不是，女的。”“你有男朋友吧。为什么跟男朋友一起住？”“他住在‘基隆’。”“坐电车的话到‘基隆’要多长

时间？”“要三十多分钟吧。”“哎，三十多分钟？很近啊。”“不！很远。”“太近！”“太远！”

实际上我们对话不是这么流利。听不懂她说话也很多，我说话跟她说不通也很多。我常问她：“你说××什么意思？”“××，怎么字？”

她说明：“就是……，就是××。”或者，有时侯她修改我的话。比如，她说：“我是个胖子。”我说：“看不出。”她修改说：“看不出来。”，我说错：“国语 guōyǔ。”她修改说：“国语 guóyǔ。”

“另外，我后天早上回国，明天我想跟朋友们、同事们买些礼物。在哪里去买好？你知道吗？”“啊，就是……，就是……。我去问朋友。你等等。”“好。你，哎，请你不应该用张嘴告诉我，应该用写字告诉我，好吗？”她回来后，给我一张纸。那张纸上用繁体字写着这样。

“淡水捷运站

吃：鱼丸汤，阿给

买：纪念品 铁蛋，鱼酥”

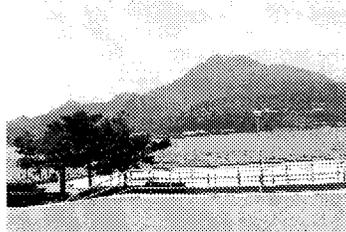
●第三天

第三天早上，首先去便利店买水，回宾馆后，宾馆服务员给我打电话说：“你要今天退房吧？”

“什么？我明天回国，我要住再一天。好，我自己查查。”我查了在网上预订的文件，哦，我订错了。我去了服务台对服务员说：“你说得对。我订错了。我想延长住一天，可以吗？”

换房间后，坐台铁到“淡水”去了。找到一家有“鱼丸汤、阿给”的饭馆儿，问老板：“有啤酒吗？”老板用手指着对面便利店说：“Seven！”好

吧。我自己去“Seven Eleven”买了啤酒，就回那家饭馆儿，吃了“鱼丸汤、阿给”喝了啤酒。“鱼丸汤、阿给”好像日本“おでん”。



●最后天

最后一天早上坐公共汽车到“桃园机场”去了。哇，在“桃园机场”有两个机场大楼。我要在第一机场大楼下车还是第二机场大楼下车？旅行社给我的文件上，只写着“桃园空港”。我在第一机场大楼车站下车了。

问出租车站的服务员：“这里有 North West Airline 的服务台吗？”他说：“有。”可是那里没有 NW 服务台。刚才的出租车站服务员骗我了吗？问讯处的服务员用日语告诉我：“バスで、第二ターミナルに行ってください。”

協会金曜夜クラス

《クラス紹介》

矢澤 昭人

昨年、協会事務所に新設された当クラス。今年は、呉英偉老師を迎え新たにスタートいたしました。メンバーは、レベルがまちまちでもやる気は十分な7人の精鋭？がそろい、いかに呉老師の授業についていくかが、一年の最大の課題と思われます。やはり、今年もほとんどの皆さんが仕事を終えてから来る方ばかりのようですが、皆協力し合って一年間がんばっていきます。

授業は、中国語中級会話テキスト『実用中国語会話』（金星堂）という教科書で、実践を意識した、実用的な会話を中心に厚みのある授業をしていただいております。

この一年で、皆さんまたどれくらい上達するかが楽しみです。昨年教えていただいた王老師に続き、今回の呉老師もすばらしい先生ですので…後は、やはり生徒のやる気次第です。って、毎年、書いていますが……。

《老師プロフィール》

呉 英偉

出身地	ハルピン市
誕生日	12月17日
来日日時	1994年5月
中国出身学校	山東大学
日本職業	中国語研修学校講師
家族	夫と二人
趣味	旅行、音楽、読書
来日理由	本当の日本を見たいから
夢	世界周遊
血液型	O型



《老師的一句》

从救援活动看日中友好的出发点

中国語訳：呉 英偉

历史悠久而物产丰富的“天府之国”——四川的大地开始摇晃起来是在 5 月 12 日下午 2 点 28 分。天地轰鸣，人工建成的一切在一瞬间都化为乌有，又回到了原始状态。4 千米以上的高山有好几座都发生了晃动。

耳边好像听到了李白的感叹——“蜀道之难，难于上青天。”蜀道还在发生余震，谁都为随时都会从天而降的二次灾害而颤栗。

当听说日本救援队最先进入了危险地区时，在语文课堂上都学过“蜀道难”的中国人民不由得肃然起敬。电视与广播都现场报道了救援队队员舍身救人的实况。哪怕只有一线希望，救援队员也绝不放弃，从瓦砾中把一对面目全非的母子遗体挖了出来。救护队员用手把遗体擦干净，再用有花纹的编织袋包好，全体排队为异国的遇难者默哀。

日本人民的热情援助一定会使蜀·四川省的希望之花再一次盛开。

四川大地震

日本語：王 敏

「天府の国」四川の大地が揺れたのは 5 月 12 日午後 2 時 28 分。天地がうなり、人工の蓄積すべてを一遍に吹っ飛ばし、いにしえの原生態に戻った。4 千メートル以上の山々がいくつも動いた。

李白の嘆きが聞こえる。「蜀道の難きは青天に上るよりも難し」。蜀道に余震が続く。誰もが、二次災害がいつ降りかかってくるのか、不安に慄く。

危険地帯に真っ先に日本の救助隊が入ると聞くだけで、「蜀道の難き」を国語で学んでいる中国国民が敬意を抱かずにはいられなかった。命がけの救助活動をテレビがラジオが生放送で伝えた。生存のわずかの希望もむなしく、救助隊はがれきの中から遺体に変わり果てた母子を掘り出した。隊員たちは手できれいに清め、柄模様の収納袋で包んだあと、全員が整列して異国の受難者に黙祷した。

日本人の熱い支援で蜀・四川省の希望の花はきっと再び咲くだろう。

(一部省略)

《受講生随筆》

中国访问の回想

加藤 展裕

大约十年前我和中国朋友的来往曾去过 5 次上海、和川口日中友好协会的友好之旅去过两次中国、此外，跟川口的好朋友又去过一次大连，前前后后共计访问过 8 次中国。

这当中给我留下印象最深刻的应该算是贵州、云南之旅吧！

三年前我参加了在贵州松桃决基川口友好小学举行的 5 周年纪念活动，受到了当地的热烈的欢迎。此行还被贵州省省会贵阳，以及云南省的大理、丽江、石林等地的悠久的历史所感动，尤其是近距离地接触的苗族少数民族的生活深深地印在了我的脑海里。

从纪录片里看到的北京、上海虽然已经很让人膛目结舌了，但因为我对历史很感兴趣，真的身在中国的时候，那些宏伟的建筑就更让我对当地人们的生活感到无限的感慨。

我很想参加今年日中友好协会的沿重庆、武汉、围绕三国历史的坐船旅行，但由于公司的工作腾不出时间来，这次只好放弃。下次有机会的话我一定参加。

訳

中国訪問の思い出

私は 10 年位前より中国人の友人との交流目的で、上海へ 5 回、川口日中の研修で 2 回、市内友人達と大連へ 1 回、計 8 回中国を訪問している。

その中で一番印象に残っているのはやはり貴州、雲南の旅である。

3 年前貴州では松桃決基川口友好小学校の 5 周年記念で熱烈歓迎を受け、州都貴陽そして雲南省大理、麗江、石林など各地で中国の歴史の重厚さに感動し、苗族の生活に直近に接した事は脳裏にしっかり受け止めている。

北京、上海をはじめ、都市部の変貌は映像でも目を見張るものがあるが、私は歴史に興味があるので、このような建造物や現地の人々の生活は、特に感慨深い。

今年の日中の研修旅行は重慶～武漢への船旅、三国志を巡るので、特に参加したかったが、自社の仕事の関係で断念した。次の機会には、是非、参加したいと思っている。



敢张口说汉语了

加藤 惠一

我学汉语三年了。我学了还不到三年。没想到这么难,开始学习汉语的时候儿“用汉语怎么说”也张不开口。

现在老师常常说“学汉语要三十多年”学过百分之计,我进步得很真慢,我也想一样。

去年我去两次中国旅行。逛街很有意思。我一到商店就明白了,我说汉语语言相通,可是听不懂。我虽然容易不说汉语,但是敢张口说汉语了。

和风和和式

山田 丝子

我在汉语入门班学了拼音和声调。结果,现在我能用汉语词典。有时,我在汉语词典里找到很有意思的词。

我和他的‘和’,据汉语词典说‘和风’是‘暖和的风’。

‘日本风’的意思‘和风’是‘日本式’,‘和式’。

但是,日本的‘和服’是‘和服’??? ‘和服’呢,很‘暖和’的衣服啊!?

汉语本来不喜欢日本的含糊的话语,这是为什么?一定也有历史的理由呢。回忆中出现,以前协会的老同学说的“汉语学的是慢慢儿的”。

吴老师,老同学们,今后还望多多指教。请多关照!

訳

和風と和式

入門クラスでピンインと声調を学び、中国語辞典が使えるようになりました。辞書の中で時々、面白い言葉に出会います。

‘我和他’の‘和’の項 ‘和風’は中国語では‘暖かい風’。

‘日本風’という意味の‘和風’は‘日本式’‘和式’。

でも、日本の着物は‘和服’??? 日本の着物は‘暖かい’のですね。

日本人的な曖昧さは許されない中国語なのに、なぜ?きっと、何か歴史的な理由があるのでしょうか。協会の先輩が「中国語の勉強は細く、長くですよ」と言われたのを思い出します。

吳老師、クラスの先輩方、よろしくご指導お願いします。



「何とかの上にも3年....」

矢澤 昭人

川口日中の門を叩いて、気が付くとあっという間に早3年。以前から買い始めた、二胡や風水の音楽CDなどが確実に枚数を増して……3年で着実に、中国語が身に染み付いてきているのを感じます。

家族には、“お父さん、3年もやっているんじゃない？！ 中国語も、ずいぶん上手になっているんじゃないの？！ 今度、どこか中国に連れて行って、おいしいものでもご馳走して!!!”なんて、私にしてみると、いやみにしか聞こえないのは、まだ、全然進歩していないのと、自信のなさからくるのだろう、と最近思うことが多々あります。

その割には、怖いもの知らずで、台湾に行ったら、一人でフラフラ整体に行ったら、毎回痛さで死ぬ思いをしたり、怪しい漢方料理を食べに行ったり、超市でわけのわからないお菓子をしょこたま買い込んで、税関で怪しまれたり……（でも、大陸はまだ1回ですが）。まだまだ、普通に会話とは逆立ちしても言えませんが、何とか続けて少しでも上達していきたいものです。

今年は、上海万博もあるし、ちょこっと行ってみたいですね。

編集後記

新緑のやわらかい緑が眼にまぶしく、学習にスポーツに行楽に快適なシーズンです。『にいはお』第32号の原稿もたくさん集まり、今年もすばらしい文集となりました。理事長、老師、新同学・老同学、会員の皆様“衷心感謝！”

前田稔夫さん、斬新な表紙と思い出深い画報の写真感謝です。“心臓”を大事にして「第50号記念」まで頑張ろうね。内野繁子さん、いろいろと助言いただき助かります。木多路子さん、「教室の規則」などを懇切丁寧に纏めてくれ、理解しやすくなりました。

田村由美さん、超多忙なのに無理難題を一晩で片付けるウルトラレディです。困った時の早川守男さん、今年の“一生のお願い!?”も快く聞いて入力してくださいました。木村真弓さん、魅力的笑顔のお蔭で、新受講生もたくさん原稿を寄せてくれました。井上不二子さん、入力ご協力“多謝！”。皆々様にこの場をお借りして、お礼申しあげます。

市東 文子



日本語教室

バードウォッチング（観察鸟类）

平山 安次

定年になってから間もなく、川口市の広報で、月一回、日曜日の早朝グリーンセンターでバードウォッチングの会があることを知り、早速家内と二人で行ってみた。「野鳥の会」の人たちが望遠鏡で野鳥の姿を捉え、それを私達に見せてくれると同時に、特徴などを色々と説明してくれる。歩きながらも色々な鳥の生態を教えてくれる。「カラス」も、ハシブトガラス（嘴太鴉）とハシボソガラス（嘴細鴉）の二種類がいること、「シラスギ」（白鷺）も大鷺、中鷺、子鷺の三種類がいて、この付近では子鷺が多く見られることなど、全く知らないことばかりで、これは面白いと思った。

そこで、早速双眼鏡と鳥の図鑑を買い、家の近所に来る鳥を見たり、又、旅行に行く時は必ず持って行くことにした。

スズメ（雀）は、昔から人の住む所にだけいた身近な鳥で、山間の開拓地にも人と共に入り込み、人が村から去るといなくなると言われている。しかし、最近マンションやエコ断熱の家が増え、軒下に巣ができなくなったせいか、めっきりと少なくなった。

秋になると、ネコジャラシ、本名は「エノコログサ」というイネ科の植物が穂をつける。スズメはそれを食べるのだが、ホバリングが出来ない。それで一羽がその穂先に止まる。すると、スズメの重みで茎が曲がり穂先が地面に着く。それから家族のスズメが寄ってきて皆で食べ、食べ終わると、又、別の穂先に一羽が止まり……これを繰り返す。案外頭がいいでしょう。

皆さんもよく名前を知っている「ウグイス」。体長はオスが 16 cm でスズメ 14.5 cm より少し大きく、上面は緑褐色、腹部は白く、目の上に灰白色の眉紋がある。以前は青木公園などでも、何回か声を聞いたことがある。笹鳴きと呼ばれる「チャッ、チャッ」という声で、懸命に探したが一度も見付からなかった。この鳥、ヤブの中が大好きである。ホーホケキョと鳴くのは恋の季節だけで、この時期には低い山の木の上にも出て来て鳴く。早春、低い山を歩いていると、まだ上手に鳴けない若い鳥が、ホーホケキョ、ホーホケキョと練習しているのを聞くと、「ああ、やってるやってる」と思わず笑ってしう。

「ウグイス」は、ウグイス色をしていると思っている人も案外多くいるようだが、ウグイス色の鳥はメジロ（目白）で、スズメより少し小さく、全長 12 cm、目の周りが白いので、この名が付いたのであろう。花の蜜が大好きなので、梅、桜、椿等の花が咲いている所では必ず見られ、チイチイと鳴く。

秋になると、ピラカンサが赤い実をつける。「ジョウビタキ」という鳥は全長 14.5 cm、スズメと同じ大きさで、黒い羽根に白斑があるので別名「紋付鳥」。以前、野鳥の会の人々が、ジョウビタキは、ピラカンサの実を三つ食べると帰って行くと話していた。

そこで、我が家のピラカンサに来るジョウビタキは、いくつ食べるだろうと思い、家内と二人で観察したことがある。するとなんと五つ食べた。鳥にも大食い、小食いなんてあるんでしょうかね。この鳥は渡り鳥である。

以前、このピラカンサ、とても珍しい鳥を呼び寄せてくれた。赤い実が沢山あった頃、近所の高いテレビアンテナの上に、見た事もない鳥が皆一方向を向いて、20羽位止まっていた。頭に冠羽があり、尾の先が赤いのと黄色のと二種類がいた。カメラに 300 mmの望遠レンズを付けて待っていると、隣の平屋のアンテナの上に降りて来た。写真を撮っても逃げない。そして数羽ずつ、整然と順番にピラカンサの木に舞い降り、実を食べ始めた。ああ、彼らはこれが食べたかったんだ、私はやっと彼等の目的に気が付いた。そして食べ終わると彼等は一斉に飛び去った。図鑑で調べたら、この鳥はヒレンジャク、キレンジャクという渡り鳥で、渡りの途中でお腹が空いたのだろうか。全長 19 cm位。後に野鳥の会の人に話したら、彼らはまだ見たことがないと言い、なかなか信じてくれないので、写真を見せたらやっと納得してくれた。

旅行に双眼鏡を持って行くことで、私達の旅行の楽しみが一つ増えた。知らない鳥に出逢えるからである。とくに北海道は自然が多いので、鳥の種類も多く、私達が最初に見に行ったのが「エトピリカ」。アイヌ語で「くちばしの美しい鳥」の意味。名前のように、くちばしが赤と黄で大きくて美しく、クリーム色のかざり羽があり、全身は黒っぽく、水中を羽根を使って泳ぎ、魚を捕まえるという鳥で、その時でも、東北北海道のキリタツプ（霧多布）という所に二つがいほどしかいない最後の鳥と言われていた。

狭い岬の先端に着くと、もう十人ほどの人達がカメラを据えたり、双眼鏡で水平線の方を見たりしていた。15mほど離れた隣の小さな島の上に、直径 20 cmくらいの穴があり、どうやら、そこが彼等の巣穴らしい。この鳥、昼間は大体海上で生活し、夕方には戻って来るらしいが、傍の人に聞いたら「昨日は8時間も待っていたけれど、見られなかった」と話してくれた。30分ほど経った頃、突然「おっ」という抑えた喚声が上がった。何と一羽のエトピリカが巣穴から出てきた。きっと卵を抱いていたんでしょう。2, 3分、おっとり歩きまわっていたが、又穴に入ってしまった。待ち時間 30分でこの鳥が見られるなんて、本当にラッキー。その後、この水の中を泳ぐエトピリカやその仲間の鳥類は重要視されて、現在は東京葛西の葛西臨海水族館に行けば、水の中を泳ぎまわるこの鳥達の姿が見られる。

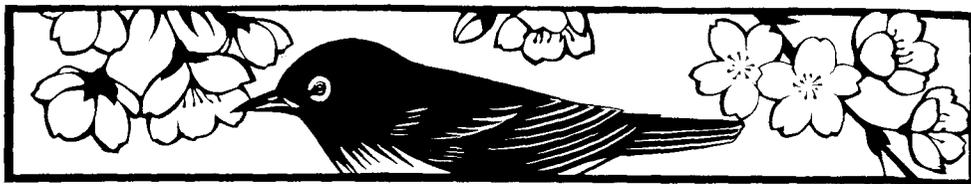
日本の最西端の島、与那国島に行った時、海岸の岩の上に一羽の鳥がいるのを見つけた。すぐ双眼鏡で見ると、なんとこれは「ヤツガシラ」という珍しい鳥なので、図鑑を見て覚えていたのだ。中国語では戴勝鳥。日本では迷鳥（時々迷い込んで来る鳥）。全長 28 cm、全体は黄褐色で、翼と尾は黒と白の縞模様。特徴は、頭に扇状の冠羽があり、それを頻繁に立てたり、寝かせたりする。少し遠い所にいたので、300 mmの望遠で撮影したが、小さくてよく写らなかった。3分ほどして飛び去ったが、珍しい鳥に出逢うと興奮して、とてもトクをしたような気持ちになる。

中国に行く時も、必ず双眼鏡を持って行った。しかし、期待はずれで、ほとんど鳥を見かけない。カラスもスズメもないのだ。2・3回ツバメを見た事があるだけ。たまに飛んでいる鳥を見かけることはあったが種類はわからない。皆さん中国で鳥を見たことがありますか？

ある時、私の鳥好きを知っている西安の友人が市内の動物市へ連れて行ってくれた。金魚や亀なども売っていたが、真っ先に目に入ったのが、あのヤツガシラであった。鳥籠から出されたその鳥は、足にヒモを付けられ、売人の腕に止まり、不安そうにあたりを見ていた。その時、私は「エッ、なんで？日本では野鳥は捕獲禁止。特に渡り鳥は、渡り鳥条約があって絶対禁止のはずなのに」と思った。

私が反応したのでその売人、私の方へ腕を伸ばして来たが、買うわけにもいかない。思わぬ所で、しかも1 mほどの近い所でこの鳥と再会？嬉しくもあり、また複雑な気持ちであった。後に中国の通訳さんにこの話をしたら「中国ではヤツガシラは留鳥ですよ」と事もなげに言われてしまった。

色々な鳥との出会いは、まだまだ沢山あるが、皆さんもバードウォッチングを始めて見ませんか？皆さんの家の傍にも、気を付けてみると、結構いろいろな鳥が来ていると思いますよ。



四季如春的昆明

李 化

虽然我不要昆明出生的,但我从小是在昆明长大的,昆明就是我的故乡。

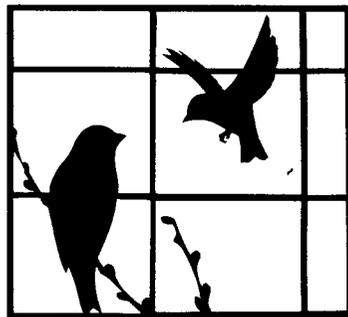
昆明位于中国的南部,是云南省的省会。昆明最迷人的地方是它的气候,一年四季都如春天一样,夏天不热,冬天不冷,所以大家都叫它“春城”。象这样的气候全世界只有两个昆明和瑞士的一个城市(名字忘记了)这两个地方被称为最适合人类生存的地方。

由于昆明独特的气候,在过去家里都不用冰箱合空调,现在冰箱大家有用,但空调其本上大家都不装,风扇大家也不用,即使是夏天在屋里没有空调也是凉快的,昆明的雨季大约在7·8月月份,一下起雨来就会感到有点寒冷,必须穿件毛衣才够,所以昆明有句古话:“一年无四季,一雨便成冬。”昆明的冬天基本不会下雪,但是如果那一年冬天突然下起雪来,那将会给大家带来许多不便,道路旁的树枝被雪压断,交通被阻塞,电线被压断,造成停电,学校停课放假。记得我上高中的时候,有一年冬天下过一场大雪,当时全市学校放假三天。很难看到雪的昆明人,一旦下雪,大家都会抓紧时间出去照像,因为如果不快点,雪会马上化掉。

因为气候的关系,昆明一年四季蔬菜都很丰富,在过去北方地区冬天很缺蔬菜,人们去北方出差的时候,带的礼物是蔬菜。

在中国有樱花的地方除了昆明意外,其它别的地方我还没有听说过。每年三月八日前后是樱花胜开的时候,那是人们都会去观看樱花,昆明的樱花颜色很浓,是很深的粉红色花瓣象葡萄一样一串串掉着,很漂亮。人们观看樱花都在白天,晚上不去看。

昆明除了气候外,有名的地方很多,离昆明不远的路南地区的“石林”,美丽的“滇池”迷人的西山“睡美人”……。好吃的东西也很多,“过桥米线”,“气锅鸡”,“乳饼”,“耳块”……。现在“过桥米线”,“气锅鸡”已经在日本有开店,不防大家去品尝品尝。如果有机会的话大家请到云南省的昆明来观光旅游,到时会给你带来很多意外的惊喜。



画報日中かわぐち

総 会

於：江南春 8階
時：2009年2月11日



会長挨拶



会 員



理事長



会員西田参議院議員

新年会

於：江南春 8階
時：2009年2月11日



受講生カラオケ



会員懇談



江南の春中国研修旅行

於：江南
時：2009年4月

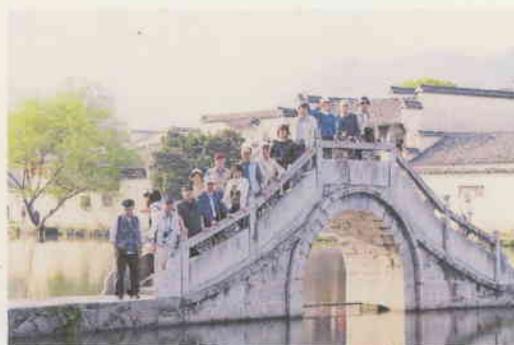
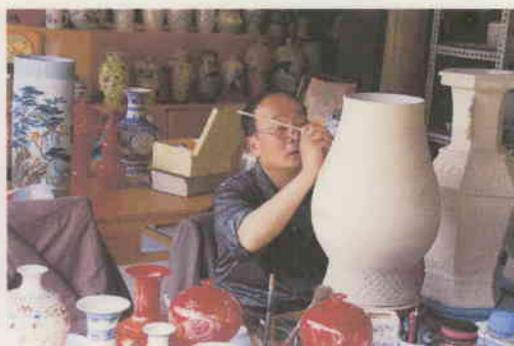


江南の春中国研修旅行

於：江南
時：2009年4月



紹興



川口日中親子教室



たたら祭り

於：オートレース場
時：2009年8月



たたら祭り



お客さんがいっぱい



ほっと一息

中国建国 60 周年

場所：中国大使館
時：2009年7月28日



ホテルニューオータニ



於：ニューオータニ



埼玉県中国語発表のつどい

於：埼玉会館
時：2009年10月



開会挨拶



川口教室の発表者



川口日中一同



審査員一同



満員の会場



菊地副理事長

無料映画会

於：スキップシティ
時：2009年11月



準備



開場



中国語教室忘年会

江南春
時：2009年12月



中国語教室忘年会

於：江南春

時：2009年12月23日





にいはお 第32号

2010年6月21日

編集:中国語教室広報部

発行:川口中国語教室

〒333-0845

川口市上青木西1-20-3

川口市産業文化会館308号

TEL 048-253-2177

川口市日本中国友好協会